
朝日村第6次総合計画（後期基本計画）にかかる
住民意識調査 報告書

令和6年5月

目次

I.	調査概要.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	調査の実施方法.....	1
(3)	回収結果.....	1
(4)	その他.....	1
II.	調査結果.....	2
(1)	回答者属性.....	2
(2)	朝日村での暮らしについて	7
(3)	朝日村が進めている政策・施策について	21
(4)	あなたの日ごろの活動などについて.....	31
(5)	行政の広報・広聴、DX、住民参加などについて.....	35
(6)	今後の村の活性化のためのアイデアについて	44

I. 調査概要

(1) 調査の目的

令和2（2020）年度に策定した「第6次朝日村総合計画」の各分野の取組に対する満足度・重要度や、村の現状・課題等を把握し、令和6（2024）年からの後期5年間の計画を策定する際の検討資料とするために実施した。

(2) 調査の実施方法

- ◆調査対象者：市内在住の18歳以上の1,500人
- ◆実施期間：2023年1月24日（水）～2023年2月15日（木）
- ◆調査方法：郵送による配布。回答の回収は郵送とWeb アンケートの併用

(3) 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,500 件	789 件 (紙の調査票 546 件、 WEB での回答 243 件)	788 件 (紙の調査票 545 件、 WEB での回答 243 件)	52.6%

(4) その他

- ◆回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合がある。
- ◆グラフ中の「n」はNumber of caseの略で、「n=」は該当質問の有効回答数を表す。なお、無回答の処理によって、有効回答数が異なる場合がある。
- ◆図表のタイトルや選択肢は、簡略化している場合がある。
- ◆文中の「前回」は、令和元（2018）年度に実施した、「朝日村第6次総合計画に関する村民アンケート調査」を指す。なお、前回の集計においては「不明・無回答」を有効回答としており、今回の集計と比較する場合、今回の集計も同様の処理をしている。

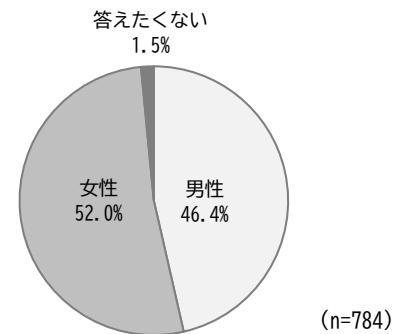
II. 調査結果

(1) 回答者属性

- 回答者の性別は、「男性」が46.4%、「女性」が52.0%、「答えたくない」が1.5%となっている。
- 年齢は、「70代以上」が29.1%で最も高く、次いで「60代」が20.1%、「50代」が17.2%と高くなっている。前回と比べると、「70代以上」が約6ポイント高くなっている。
- 居住地は、「古見」が39.4%と最も高く、次いで「西洗馬」で34.6%となっている。

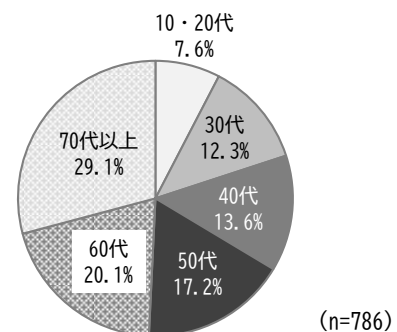
① 性別

	度数 (人)	割合 (%)
男性	364	46.4
女性	408	52.0
答えたくない	12	1.5
合計	784	100.0

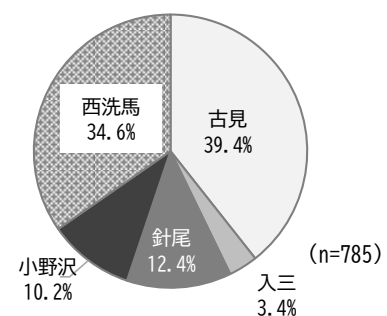
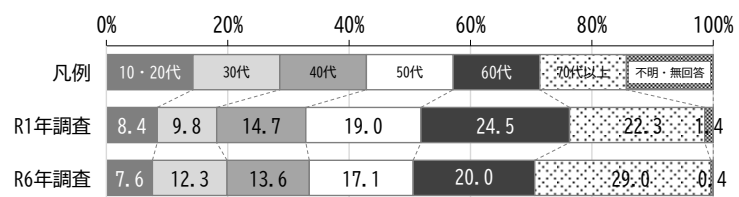


② 年齢

	度数 (人)	割合 (%)
10・20代	60	7.6
30代	97	12.3
40代	107	13.6
50代	135	17.2
60代	158	20.1
70代以上	229	29.1
合計	786	100.0



★＜前回比較＞



- ・居住地域は、「古見」が39.4%と最も高く、次いで「西洗馬」で34.6%となっている。
- ・「入三」において40代と70代以上、「小野沢」において70代以上の比率が、村全体よりも約10ポイント高くなっている。一方、「入三」「小野沢」において60代以上の比率が、村全体よりも約10ポイント低くなっている。
- ・居住年数は「20年以上」が75.5%と多くを占めている。

③ 居住地域

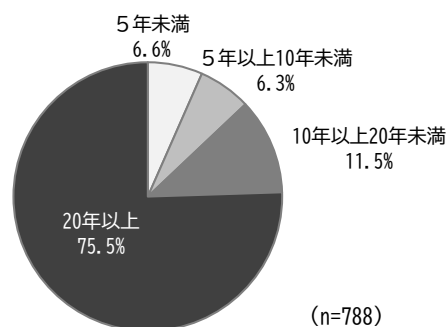
	度数 (人)	割合 (%)
古見	309	39.4
入三	27	3.4
針尾	97	12.4
小野沢	80	10.2
西洗馬	272	34.6
合計	785	100.0

<クロス集計>

		年齢					
		10・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
居住地域	古見(n=308)	9.7%	11.0%	14.0%	18.2%	21.4%	25.6%
	入三(n=26)	3.8%	11.5%	23.1%	11.5%	11.5%	38.5%
	針尾(n=97)	7.2%	10.3%	13.4%	12.4%	22.7%	34.0%
	小野沢(n=80)	2.5%	16.3%	13.8%	15.0%	11.3%	41.3%
	西洗馬(n=272)	7.4%	13.2%	12.1%	19.1%	21.3%	26.8%
	合計(n=783)	7.7%	12.3%	13.5%	17.2%	20.2%	29.1%

④ 居住年数

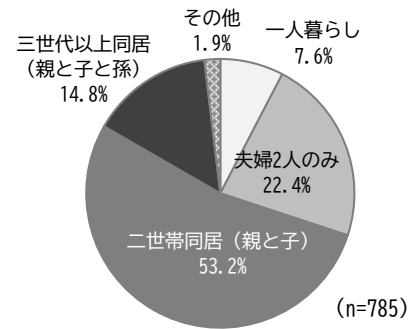
	度数 (人)	割合 (%)
5年未満	52	6.6
5年以上10年未満	50	6.3
10年以上20年未満	91	11.5
20年以上	595	75.5
合計	788	100.0



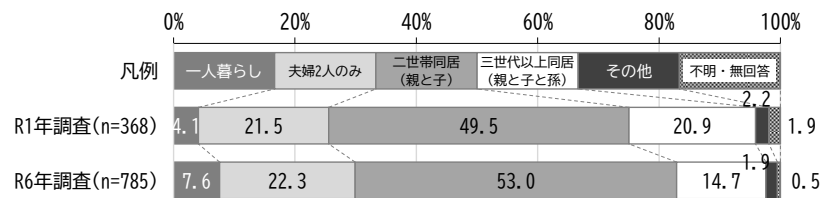
- 家族形態は、「二世帯同居（親と子）」が 53.2%と半数以上を占めており、次いで「夫婦 2 人のみ」が 22.4% となっている。前回と比べると、「三世帯以上同居（親と子と孫）」が 5 ポイント以上低くなっている。
- 同居家族は、「65 歳以上」の家族がいると回答する者が 45.5%でも最も高く、その他、子ども（未就学、小学生、中学生、高校・大学生）や障害のある人、介護を要する人は、それぞれ 1 割程度となっている。前回と比べると、「65 歳以上」の家族と同居している割合のみ 10 ポイント近く低くなっており、他は大きな変動はみられない。

⑤ 家族形態

	度数（人）	割合（%）
一人暮らし	60	7.6
夫婦2人のみ	176	22.4
二世帯同居（親と子）	418	53.2
三世帯以上同居（親と子と孫）	116	14.8
その他	15	1.9
合計	785	100.0

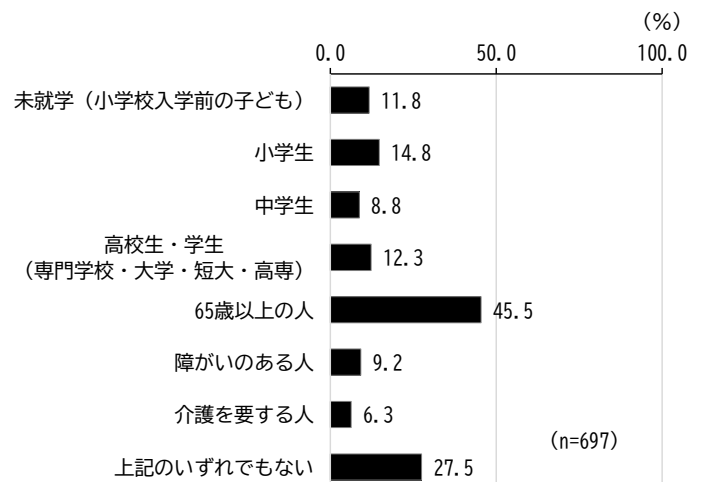


★＜前回比較＞



⑥ 同居家族（複数回答）

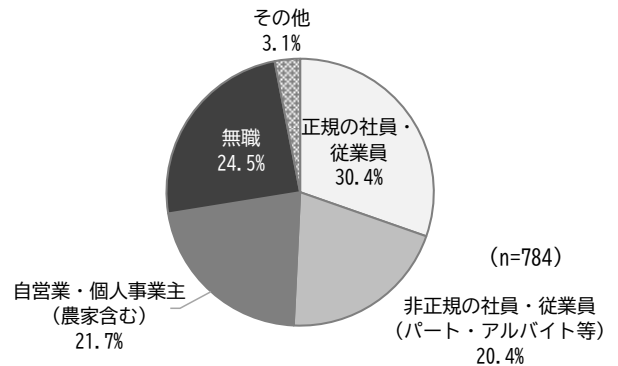
	度数（人）	割合（%）
未就学（小学校入学前の子ども）	82	11.8
小学生	103	14.8
中学生	61	8.8
高校生・学生 （専門学校・大学・短大・高専）	86	12.3
65歳以上の人	317	45.5
障がいのある人	64	9.2
介護を要する人	44	6.3
上記のいずれでもない	192	27.5
回答者数	697	



- ・職業は「正規の社員・従業員」が 30.4%で最も高く、次いで「無職」が 24.5%、「自営業・個人事業主」が 21.7%となっている。
- ・仕事の分野としては、何らかの仕事に就いている者では、「第3次産業」に従事している者が 36.9%で最も高く、次いで「第2次産業」が 19.7%、「第1次産業」が 16.8%となっている。なお、「仕事についていない」は 23.5%である。

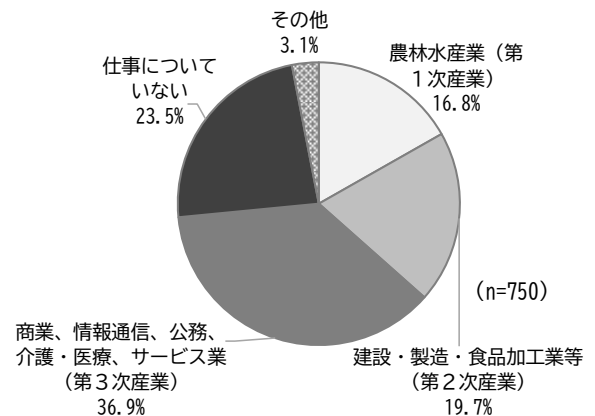
⑦ 職業

	度数 (人)	割合 (%)
正規の社員・従業員	238	30.4
非正規の社員・従業員 (パート・アルバイト等)	160	20.4
自営業・個人事業主 (農家含む)	170	21.7
無職	192	24.5
その他	24	3.1
合計	784	100.0

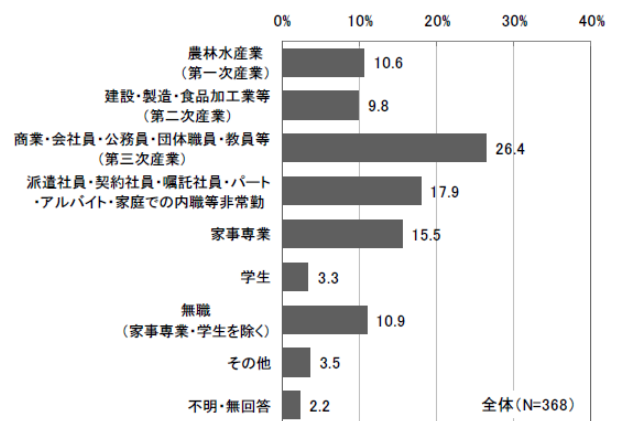


⑧ 仕事の分野

	度数 (人)	割合 (%)
農林水産業 (第1次産業)	126	16.8
建設・製造・食品加工業等 (第2次産業)	148	19.7
商業・情報通信、公務、介護・医療、サービス業 (第3次産業)	277	36.9
仕事についていない	176	23.5
その他	23	3.1
合計	750	100.0



★<参考：前回の結果¹⁾>

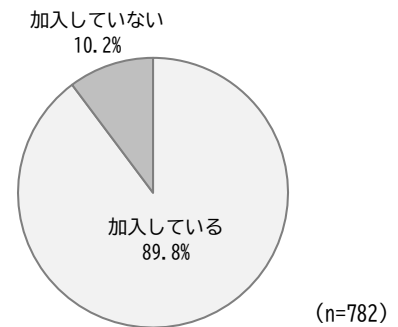


¹⁾今回は、前回選択肢にあった「派遣社員・契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト・家庭での内職等非常勤 (第一次・第二次・第三次産業の区別を問いません)」が無く、就労分野が 1 対 1 で比較できない。

- 地区の加入状況は、「加入している」が 89.8%で、多くが加入しているが、「加入していない」とする者が 10.2%みられる。
- 地区の役員経験では、「現在、担っている」「過去に担ったことがある」を合わせて、74.1%の者が役員経験があり、26.0%は経験がないと回答している。

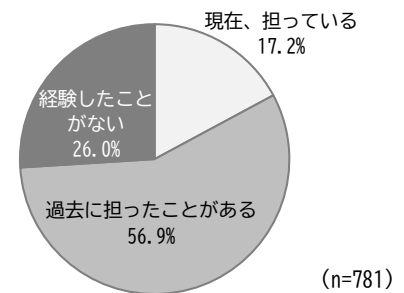
⑨ 地区加入状況

	度数（人）	割合（％）
加入している	702	89.8
加入していない	80	10.2
合計	782	100.0



⑩ 地区の役員経験

	度数（人）	割合（％）
現在、担っている	134	17.2
過去に担ったことがある	444	56.9
経験したことがない	203	26.0
合計	781	100.0

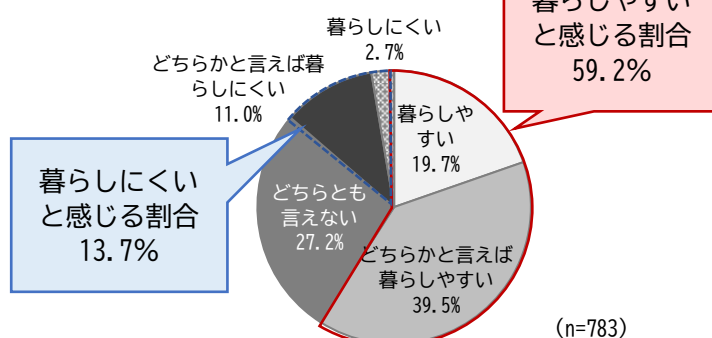


(2) 朝日村での暮らしについて

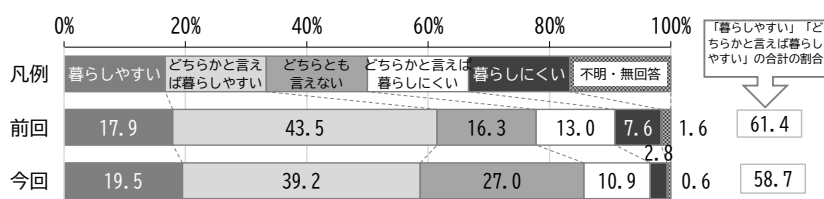
- 朝日村での暮らしについて、暮らしやすいと感じる割合（「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」の合計の割合）は59.2%で、暮らしにくい（「暮らしにくい」「どちらかと言えば暮らしにくい」の合計の割合）は13.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、暮らしやすいと感じる割合は2.7ポイント低くなっており、「どちらともいえない」と回答する割合が10.7ポイント増えている。
- 性別、年齢、居住地別にそれぞれみると、年齢では、「50代」「60代」、居住地別では「針尾」「小野沢」において暮らしやすいとする割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。また、前回と比較すると、年齢では60代及び70代以上、居住地区では針尾において、暮らしやすいと感じる割合は10ポイント以上減っている一方で、10～50代においては、前回より増加している。

① 暮らしについて

	度数（人）	割合（％）
暮らしやすい	154	19.7
どちらかと言えば暮らしやすい	309	39.5
どちらともいえない	213	27.2
どちらかと言えば暮らしにくい	86	11.0
暮らしにくい	21	2.7
合計	783	100.0

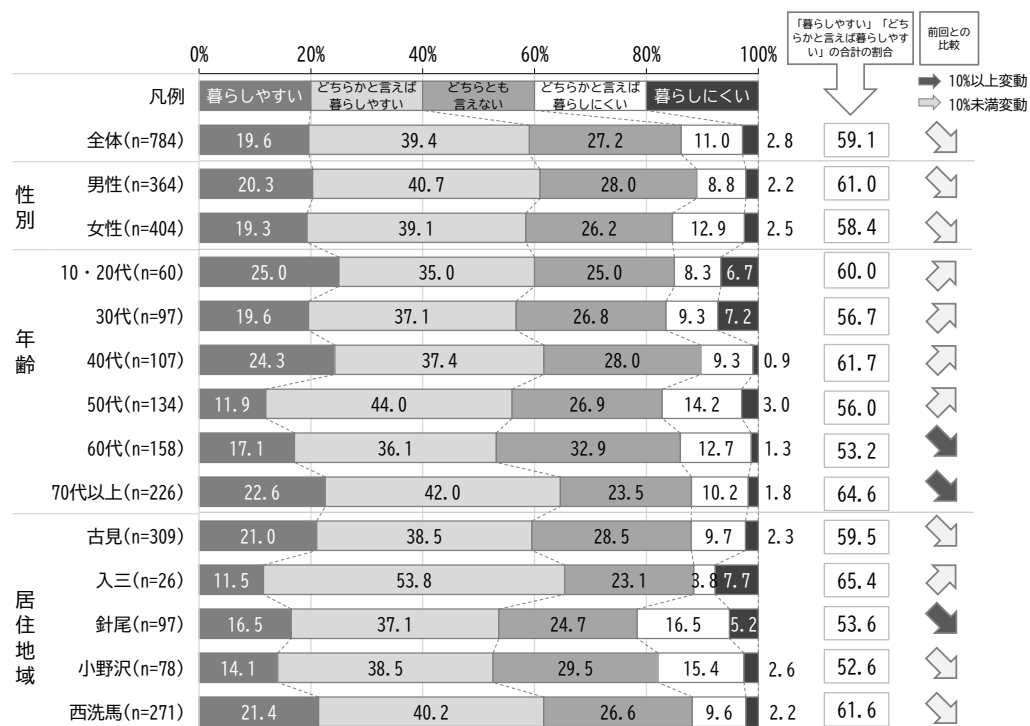


★★＜前回比較＞



※前回調査の結果と比較するため、無回答を含めている

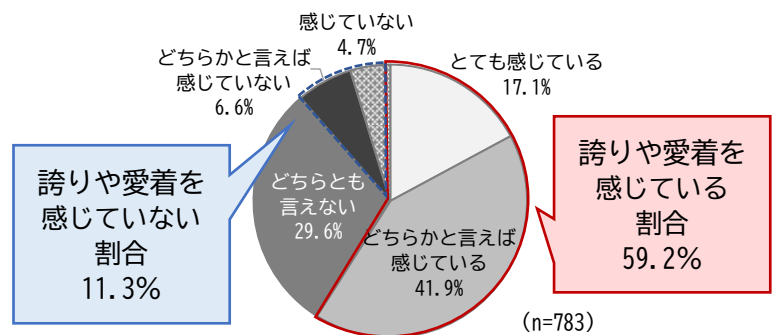
★★＜クロス集計と前回比較＞



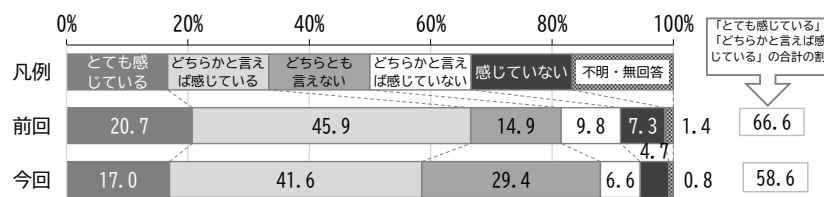
- ・朝日村に対する誇りや愛着については、誇りや愛着を感じている割合（「とても感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計の割合）は 59.0%で、感じていないとする割合（「感じていない」「どちらかと言えば感じていない」の合計の割合）は 11.3%となっている。
- ・前回と比較すると、誇りや愛着を感じている割合は 8.0 ポイント低くなっており、「どちらともいえない」と回答する割合が 14.5 ポイント増えている。
- ・性別、年齢、居住地別にそれぞれみると、年齢では、「30 代」「60 代」、居住地域別では「古見」「針尾」「小野沢」において誇りや愛着を感じている割合が全体よりも 5 ポイント以上低くなっている。一方、年齢では「10・20 代」「40 代」「70 代以上」、居住地域別では「入三」において、誇りや愛着を感じている割合が全体よりも 5 ポイント以上高い。また、**前回と比較すると、年齢では 60 代及び 70 代以上、居住地区では古見及び入三において、誇りや愛着を感じている割合は 10 ポイント以上減っている。**

② 誇りや愛着

	度数（人）	割合（％）
とても感じている	134	17.1
どちらかと言えば感じている	328	41.9
どちらとも言えない	232	29.7
どちらかと言えば感じていない	51	6.5
感じていない	37	4.7
合計	782	100.0

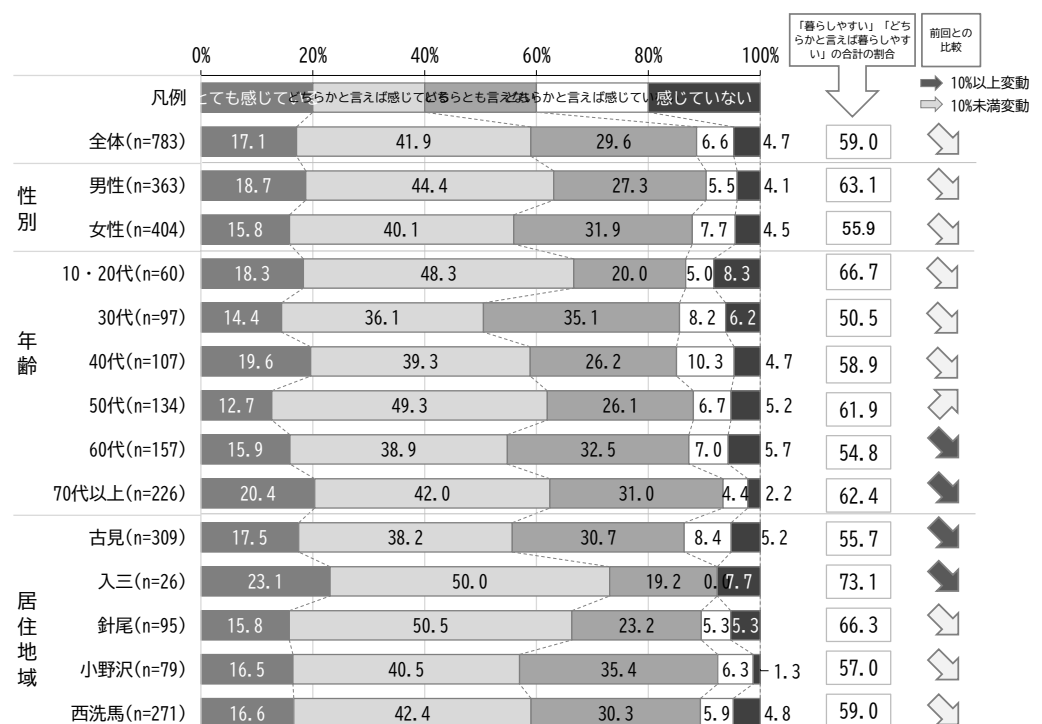


★★＜前回比較＞



※前回調査の結果と比較するため、無回答を含めている

★★＜クロス集計と前回比較＞

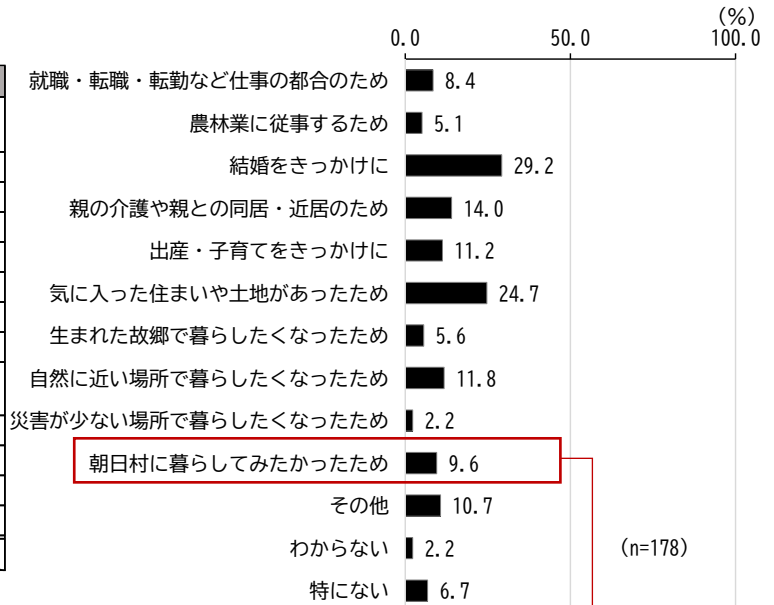


- ・朝日村へ15年以内に転入してきた者のきっかけをみると、「結婚をきっかけに」が29.2%と最も高く、次いで「気に入った住まいや土地があったため」が24.7%となっている。
- ・転入してきた者のうち、「朝日村に暮らしてみたかったため」と回答した者（17人）において、魅力を感じたところをみると、「空気や水がきれい」が82.4%と最も高く、次いで「自然に恵まれている」が70.6%と高くなっている。

<回答者：朝日村に15年以内に転入してきた者>

③ 転入のきっかけ（複数回答）

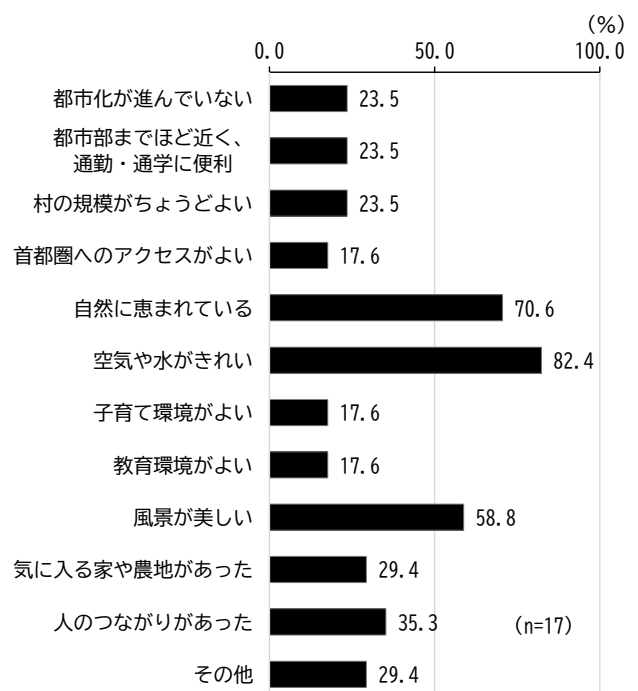
	度数（人）	割合（%）
就職・転職・転勤など仕事の都合のため	15	8.4
農林業に従事するため	9	5.1
結婚をきっかけに	52	29.2
親の介護や親との同居・近居のため	25	14.0
出産・子育てをきっかけに	20	11.2
気に入った住まいや土地があったため	44	24.7
生まれた故郷で暮らしたくなったため	10	5.6
自然に近い場所で暮らしたくなったため	21	11.8
災害が少ない場所で暮らしたくなったため	4	2.2
朝日村に暮らしてみたかったため	17	9.6
その他	19	10.7
わからない	4	2.2
特になし	12	6.7
回答者数	178	



<回答者：転入のきっかけとして「朝日村に暮らしてみたかったため」と回答した者>

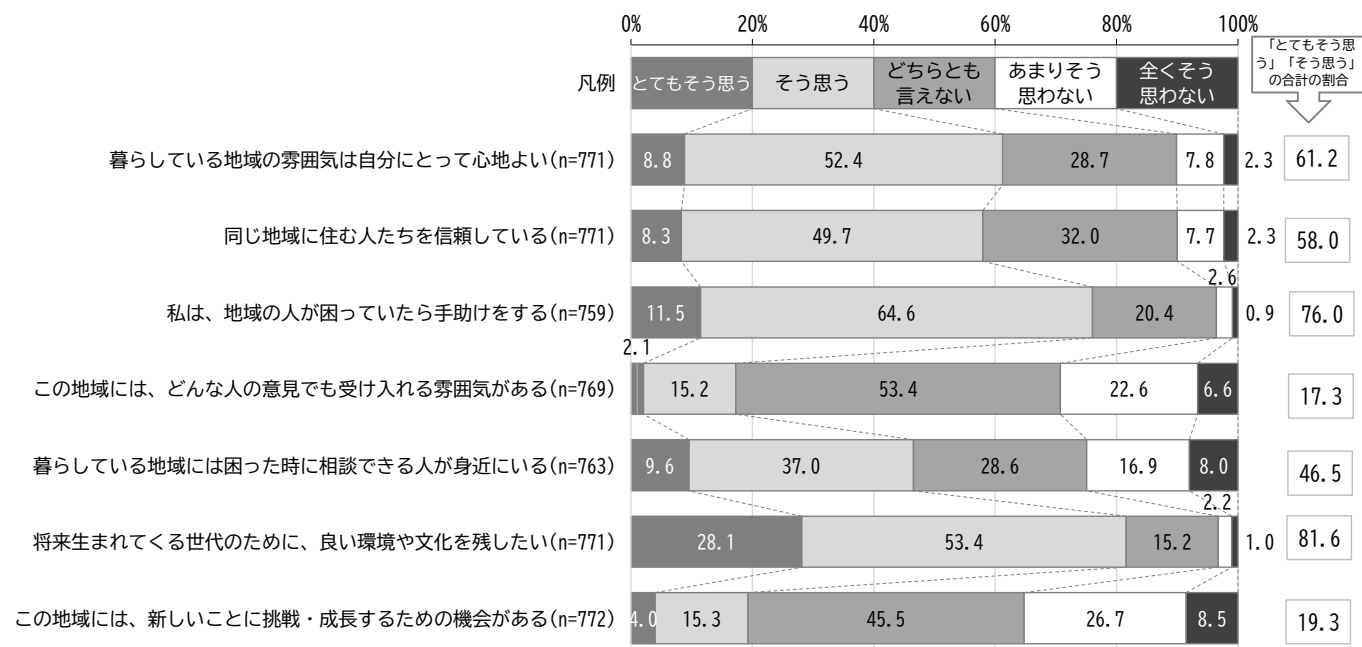
④ 魅力を感じたところ（複数回答）

	度数（人）	割合（%）
都市化が進んでいない	4	23.5
都市部までほど近く、通勤・通学に便利	4	23.5
村の規模がちょうどよい	4	23.5
首都圏へのアクセスがよい	3	17.6
自然に恵まれている	12	70.6
空気や水がきれい	14	82.4
子育て環境がよい	3	17.6
教育環境がよい	3	17.6
風景が美しい	10	58.8
気に入る家や農地があった	5	29.4
人のつながりがあった	6	35.3
その他	5	29.4
回答者数	17	



•朝日村での暮らしについてどのように捉えているか、それぞれの項目を確認すると、「将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」と思う割合（「とても思う」「そう思う」の合計の割合、以後、「とてもそう思う・そう思う」とする）は、81.6%で最も高く、次いで「私は、地域の人困っていたら手助けをする」と思う割合が76.0%と高くなっている。一方で「この地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」や「この地域には、新しいことに挑戦・成長するための機会がある」について「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合は低くなっている。

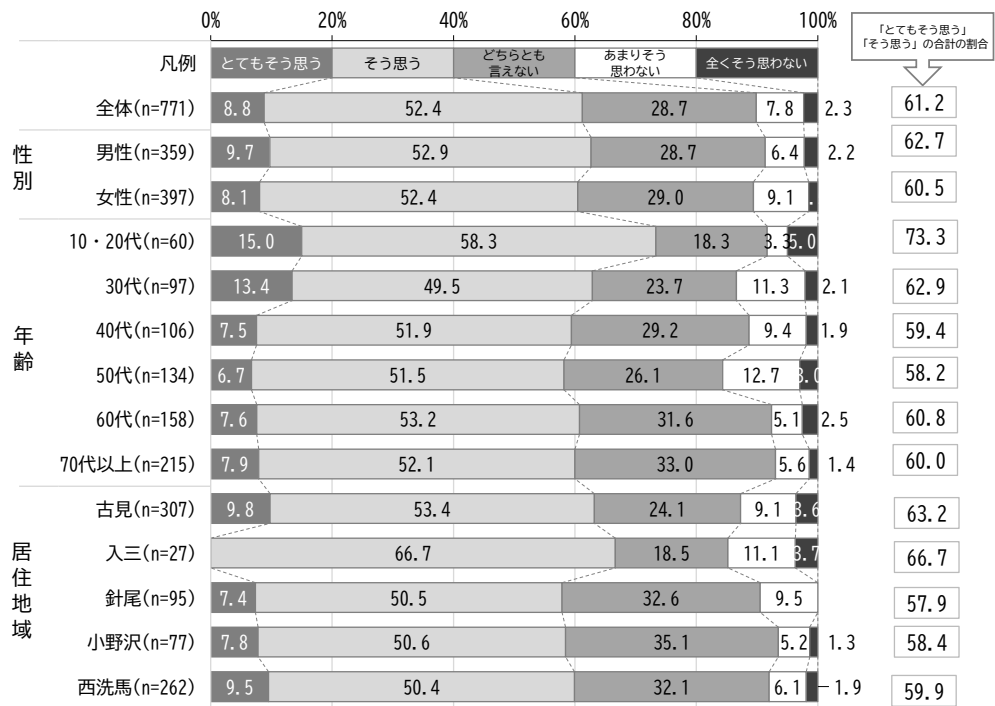
⑤ ★★朝日村での暮らしについてどのように捉えているか



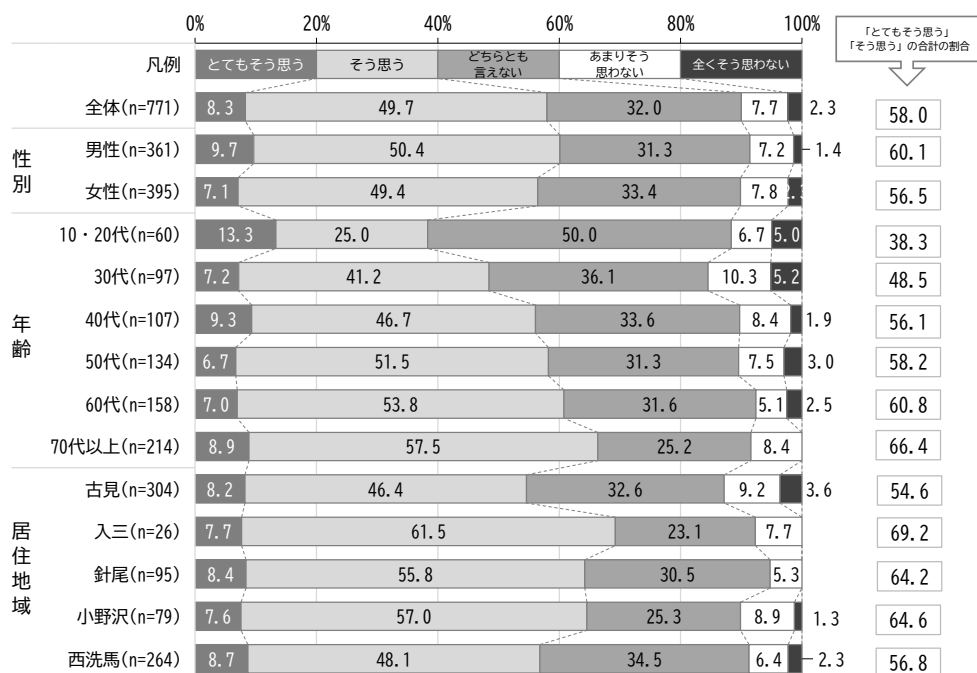
- 項目ごとに性別、年齢、居住地別でみると、暮らしている地域の雰囲気は自分にとって心地よいと思うかどうかでは、年齢では「10・20代」、居住地では「入三」において、「とてもそう思う・そう思う」と回答した割合が全体より5ポイント以上高い。
- 同じ地域に住む人たちを信頼しているかどうかでは、年齢では「70代以上」、居住地では「入三」「針尾」「小野沢」において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。一方、年齢において「10・20代」「30代」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。

<クロス集計>

a. 暮らしている地域の雰囲気は自分にとって心地よい

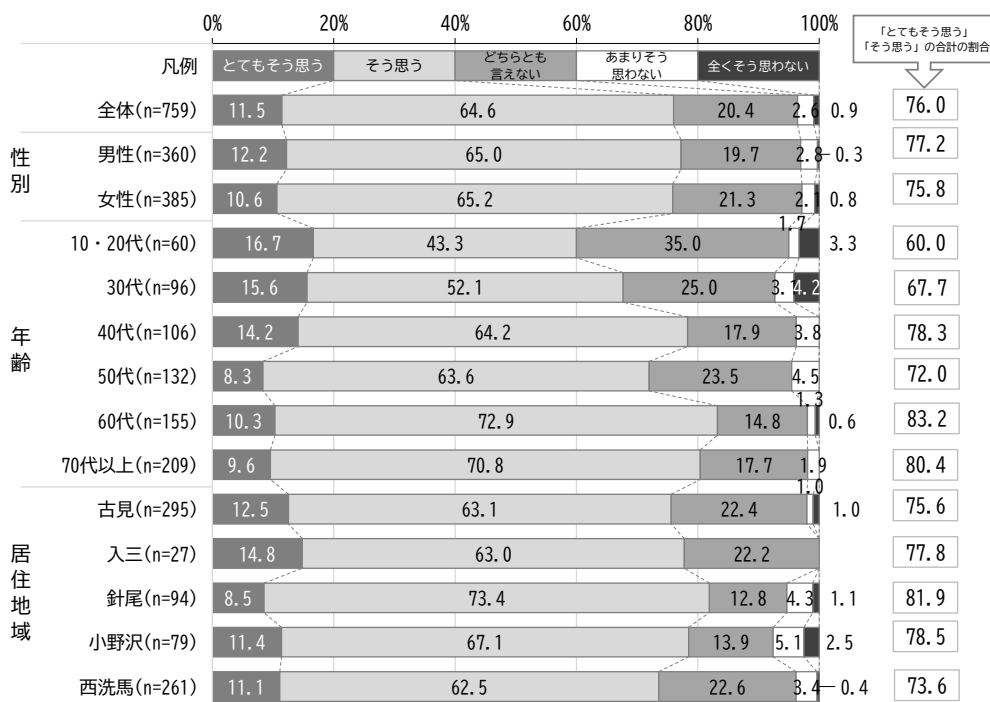


b. 同じ地域に住む人たちを信頼している

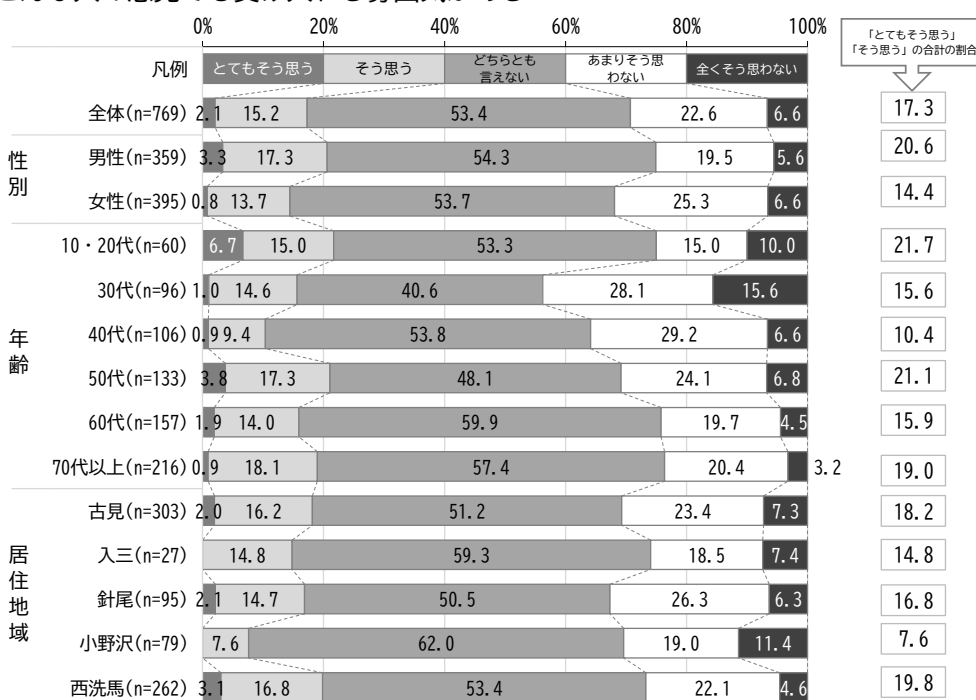


- 地域の人困っていたら手助けをするかどうかでは、年齢では「60代」、居住地域では「針尾」において、「とてもそう思う・そう思う」と回答した割合が高い。一方、年齢において「10・20代」「30代」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。
- 地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気があるかどうかでは、年齢において「40代」、居住地域において「小野沢」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。なお、地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気があると思う割合が全体よりも5ポイント以上高い層はみられない。

c. 私は、地域の人困っていたら手助けをする

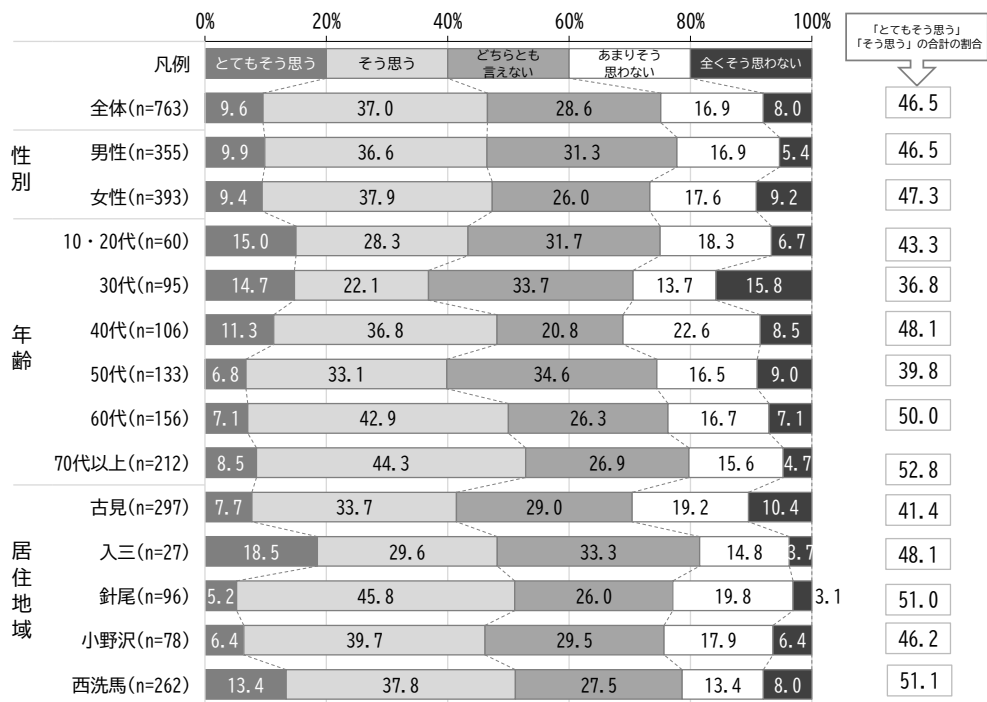


d. この地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

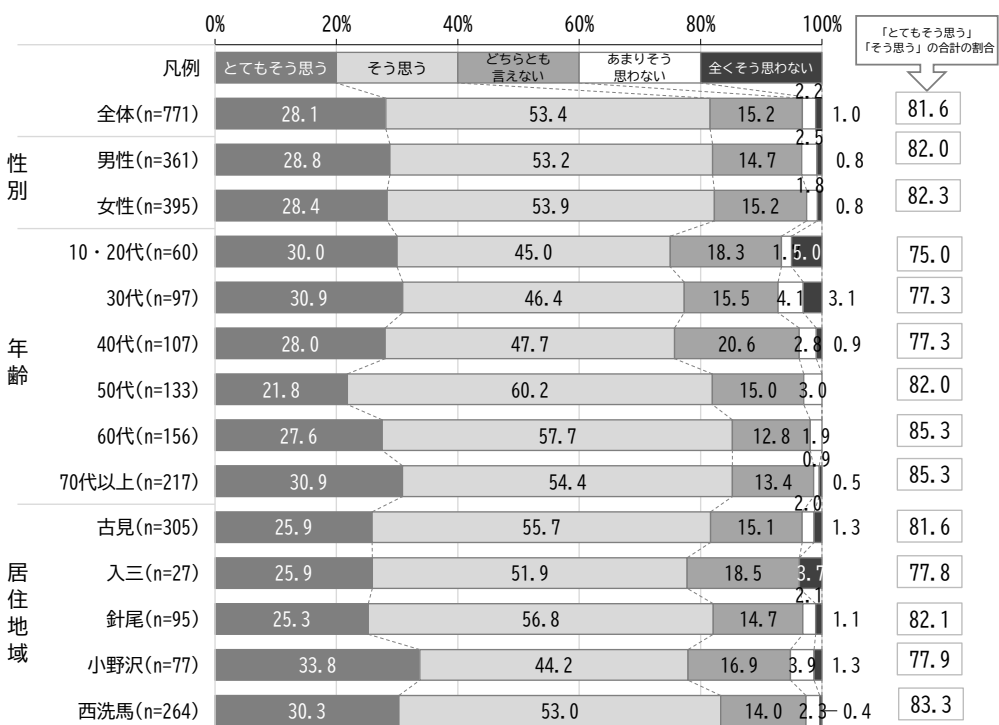


- ・暮らしている地域には困った時に相談できる人が身近にいるかどうかでは、年齢において「30代」「50代」、居住地域において「古見」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。なお、暮らしている地域には困った時に相談できる人が身近にいると思う割合が全体よりも5ポイント以上高い層はみられない。
- ・将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したいかどうかでは、年齢において「40代」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。なお、地域には、将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したいと思う割合が全体よりも5ポイント以上高い層はみられない。

e. 暮らしている地域には困った時に相談できる人が身近にいる

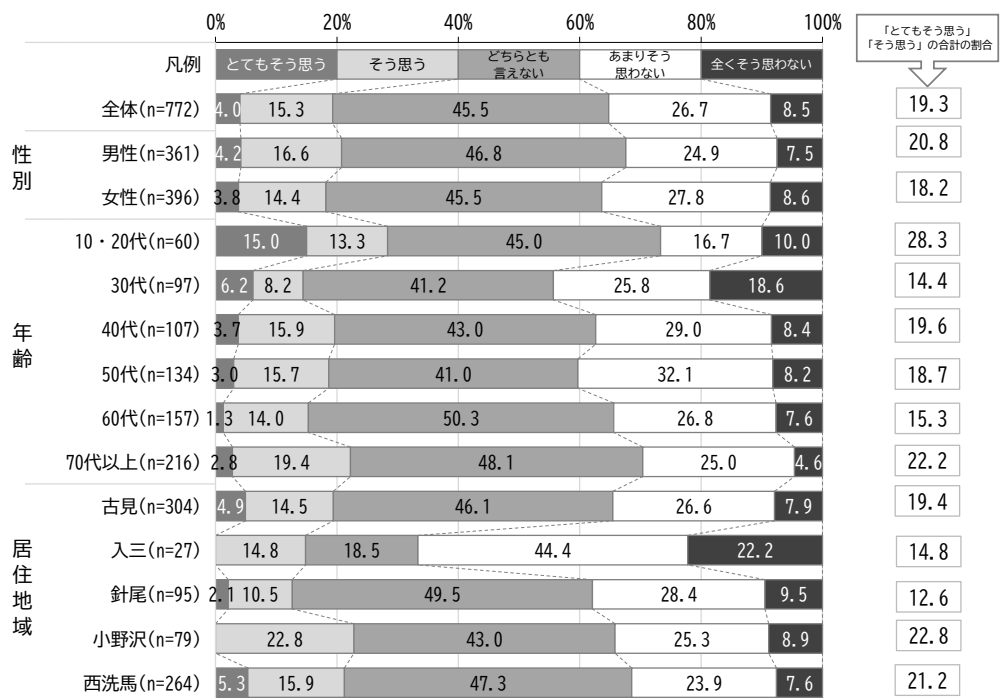


f. 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい



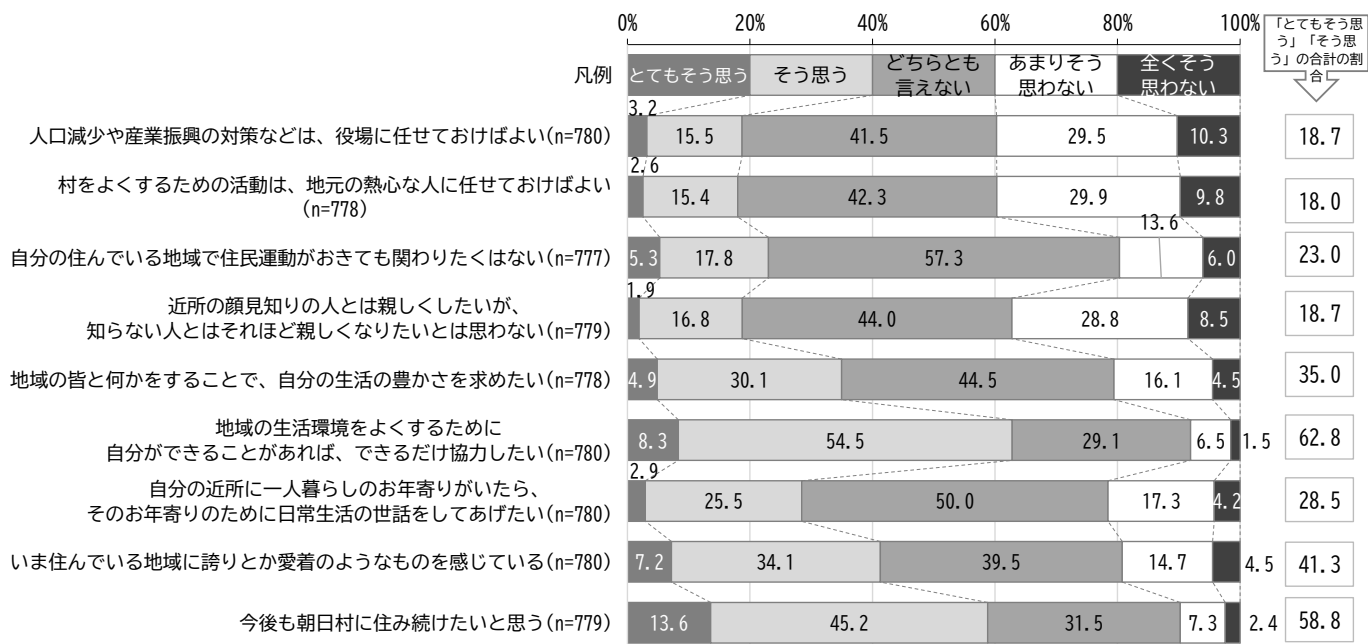
- 地域には、新しいことに挑戦・成長するための機会があるかどうかでは、年齢で「10・20代」と回答する者において、全体よりも「とてもそう思う・そう思う」割合が全体よりも9.0ポイント高くなっている。一方、居住地域において「針尾」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。

g. この地域には、新しいことに挑戦・成長するための機会がある



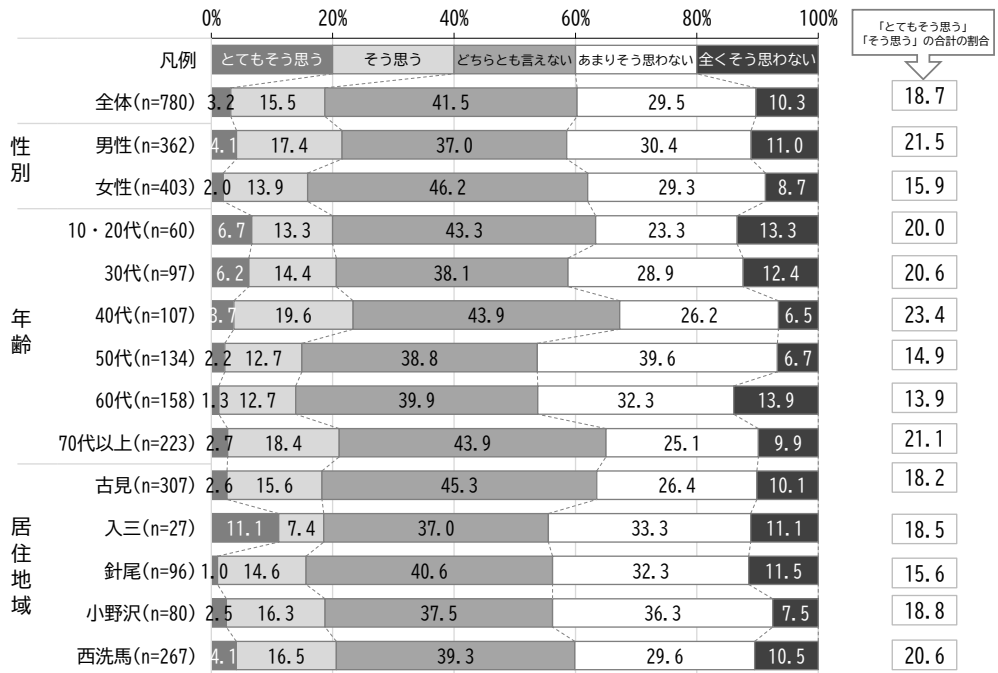
- 地域社会についての考え方としては、「地域の生活環境をよくするために自分ができることがあれば、できるだけ協力したい」と思う割合が 62.8%で最も高く、次いで「今後も朝日村に住み続けたいと思う」と思う割合が 58.8%と高くなっている。

⑥ ★★地域社会に対する考え方について

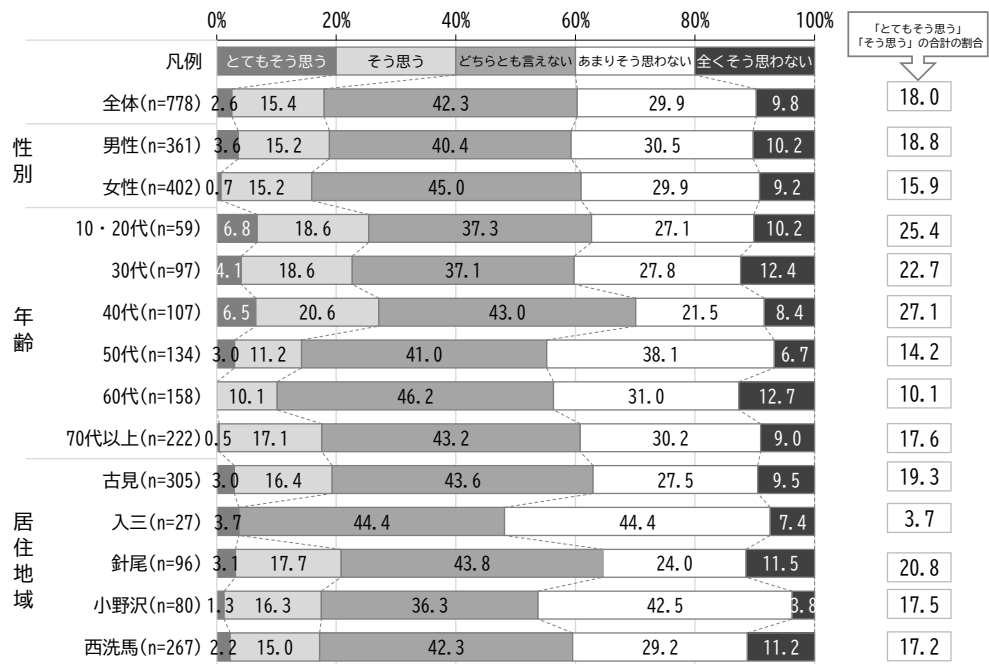


- 項目ごとに性別、年齢、居住地別でみると、人口減少や産業振興の対策などは、役場に任せておけばよいと思うかどうかでは、全体と比較して5ポイント以上の差がある層はみられない。
- 村をよくするための活動は、地元の熱心な人に任せておけばよいかどうかでは、年齢において「10・20代」「40代」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。一方、年齢において「60代」、居住地で「入三」と回答する者では「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低くなっている。

a. 人口減少や産業振興の対策などは、役場に任せておけばよい

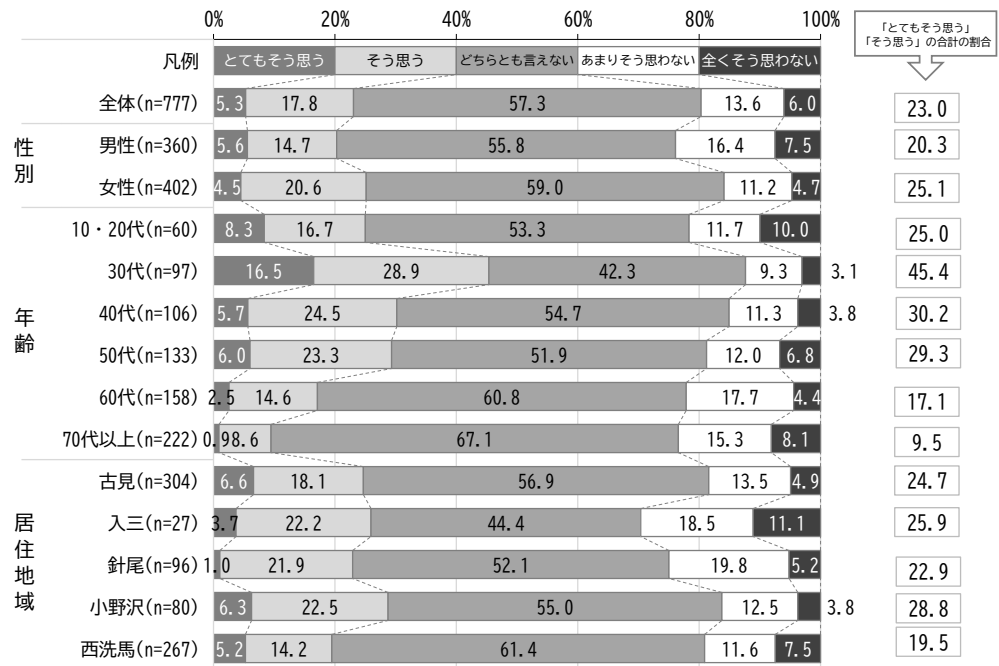


b. 村をよくするための活動は、地元の熱心な人に任せておけばよい

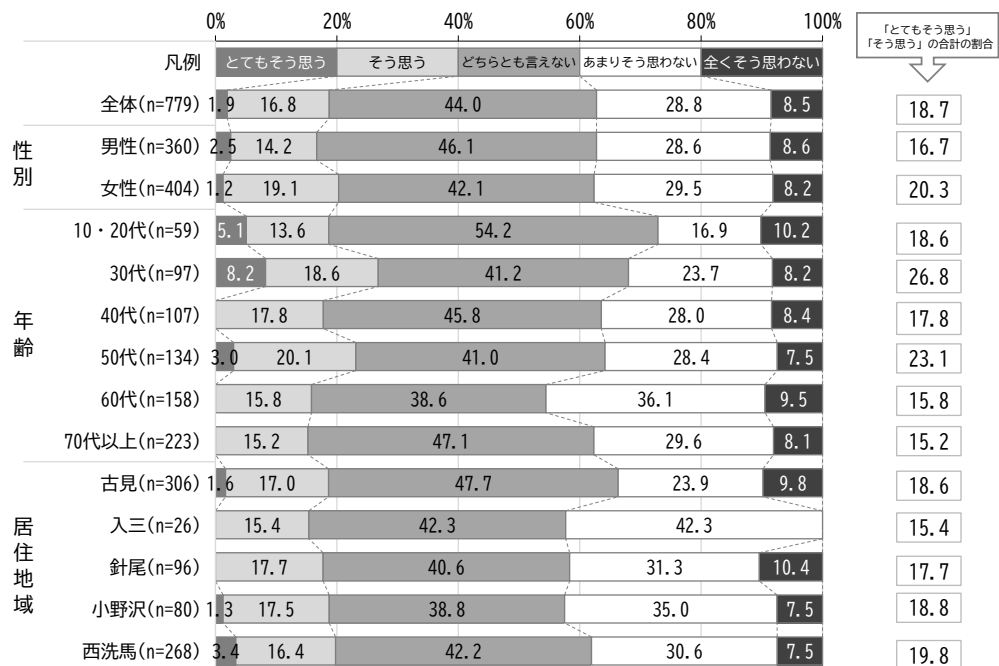


- 自分の住んでいる地域で住民運動がおきても関わりたくはないと思うかどうかでは、年齢で「30代」「40代」、居住地域で「小野沢」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。一方、年齢で「60代」「70代以上」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上低い。
- 近所の顔見知りの人とは親しくしたいが、知らない人とはそれほど親しくなりたいとは思わないかどうかでは、年齢において「30代」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。なお、全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が5ポイント以上低くなっている層はみられない。

c. 自分の住んでいる地域で住民運動がおきても関わりたくはない

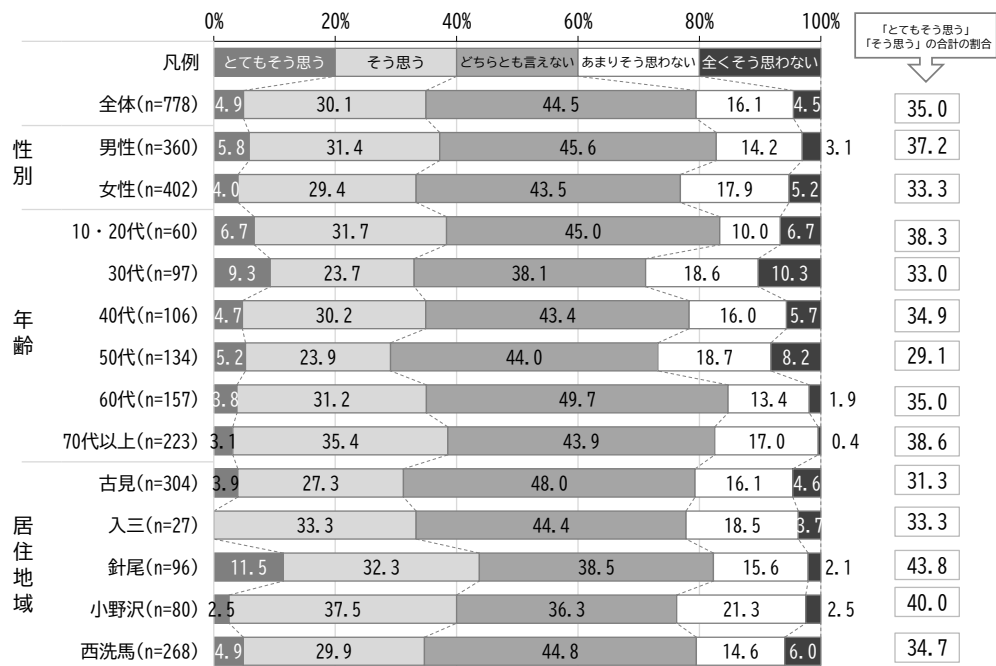


d. 近所の顔見知りの人とは親しくしたいが、知らない人とはそれほど親しくなりたいとは思わない

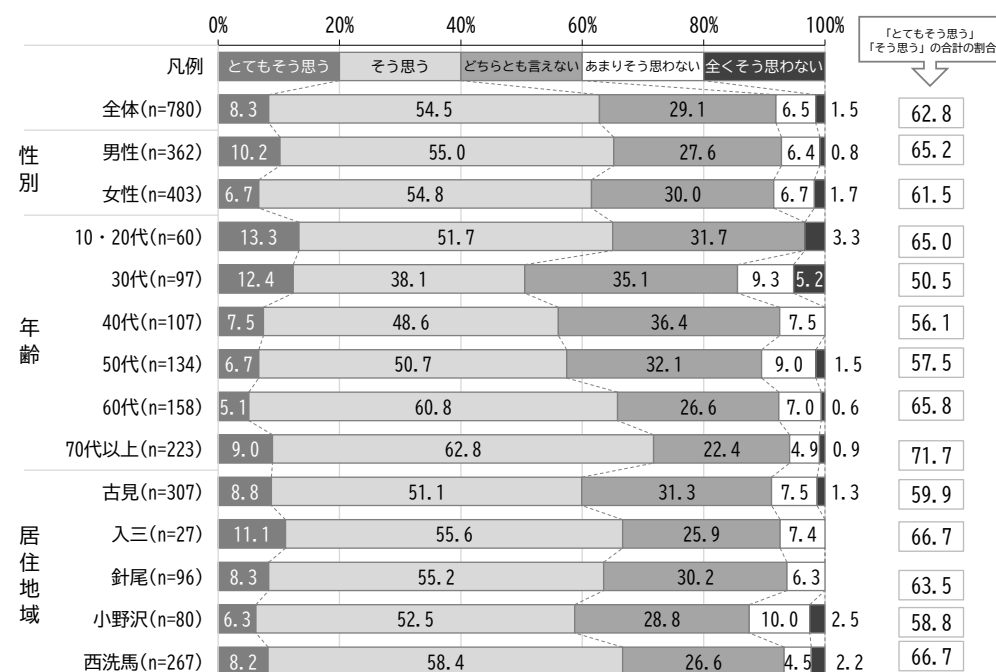


- 地域の皆と何かをすることで、自分の生活の豊かさを求めたいと思うかどうかでは、居住地域で「針尾」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも 8.8 ポイント高い。一方、年齢において「50 代」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が 5.9 低い。
- 地域の生活環境をよくするために自分ができることがあれば、できるだけ協力したいと思うかどうかでは、年齢で「70 代以上」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも 8.9 ポイント高くなっている。一方、年齢において「30 代」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも 12.3 ポイント低く、その他「50 代」でも 5.4 ポイント低い。

e. 地域の皆と何かをすることで、自分の生活の豊かさを求めたい

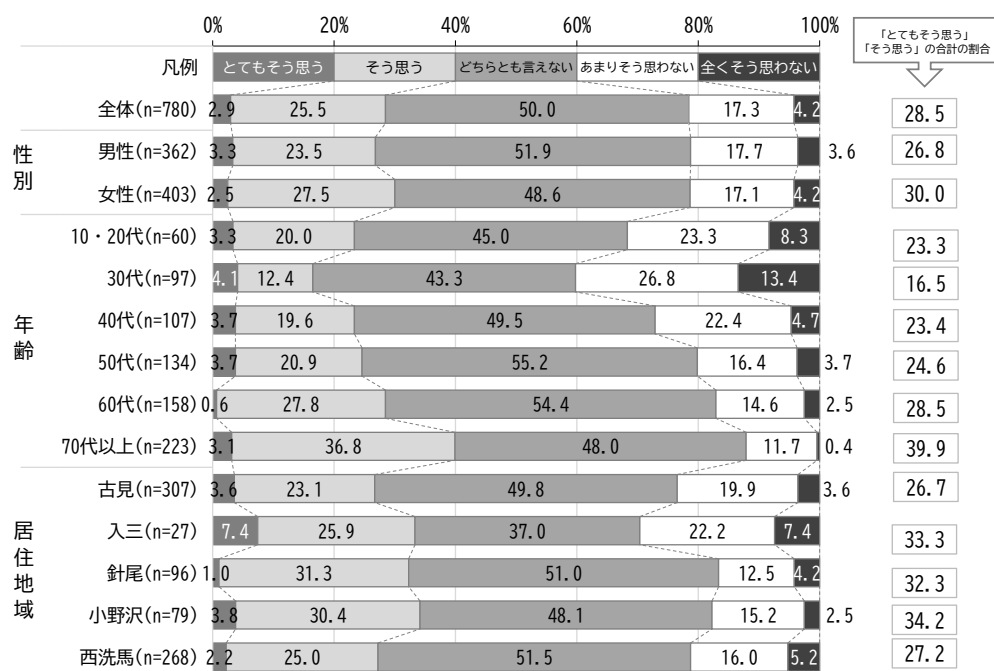


f. 地域の生活環境をよくするために自分ができることがあれば、できるだけ協力したい

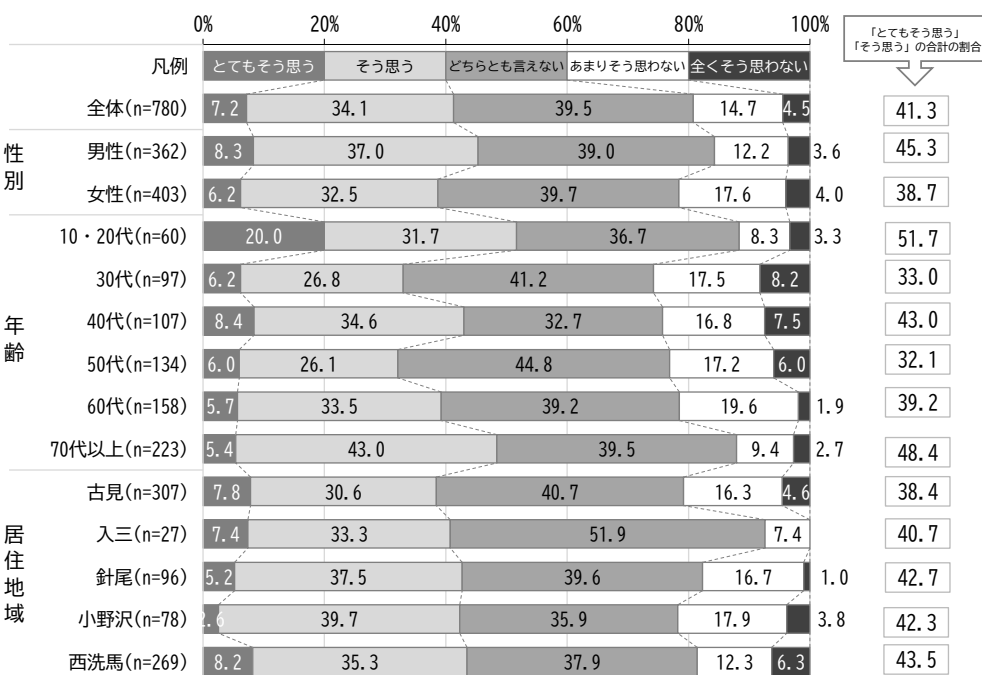


- 自分の近所に一人暮らしのお年寄りがいたら、そのお年寄りのために日常生活の世話をしてあげたいと思うかどうかでは、年齢で「70代以上」、居住地域で「小野沢」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。一方、年齢において「30代」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも12.0ポイント低い。
- いま住んでいる地域に誇りとか愛着のようなものを感じているかどうかでは、年齢において「10・20代」「70代以上」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも5ポイント以上高い。一方、年齢で「30代」「50代」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が5ポイント以上低い。

g. 自分の近所に一人暮らしのお年寄りがいたら、そのお年寄りのために日常生活の世話をしてあげたい



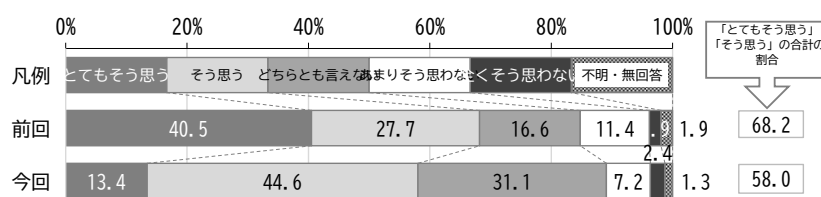
h. いま住んでいる地域に誇りとか愛着のようなものを感じている



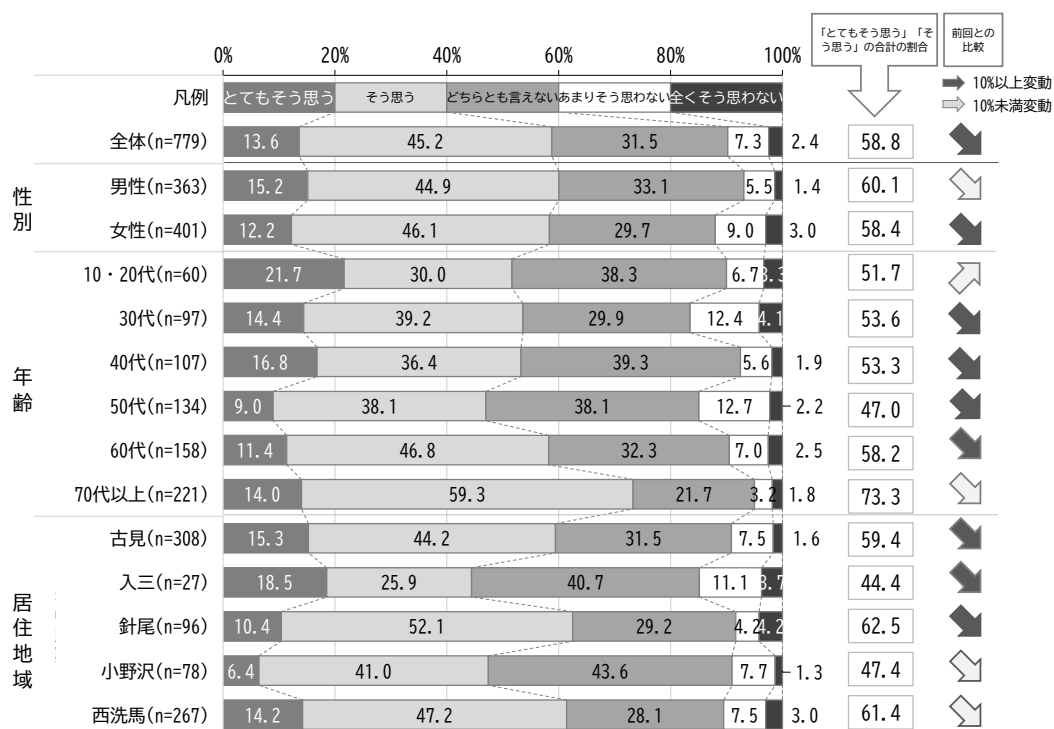
- 今後も朝日村に住み続けたいと思うかどうかでは、年齢で「70代以上」と回答する者において、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が全体よりも14.5ポイント高い。一方、年齢において「30代」「40代」「50代」、居住地域で「入三」「小野沢」と回答する者では全体よりも「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が5ポイント以上低い。
- 前回と比較すると、「とてもそう思う・そう思う」と回答する割合が5ポイント以上減った。特に、「とてもそう思う」と回答する割合は25ポイント以上減った。性別にみると、女性の方が比較的減少の幅が大きい。年代別にみると、30代以上は全ての世代で減少、特に30～60代は10ポイント以上減った。一方で、10・20代は前回より増加した。

i. 今後も朝日村に住み続けたいと思う

★＜前回比較＞



★★＜クロス集計＞

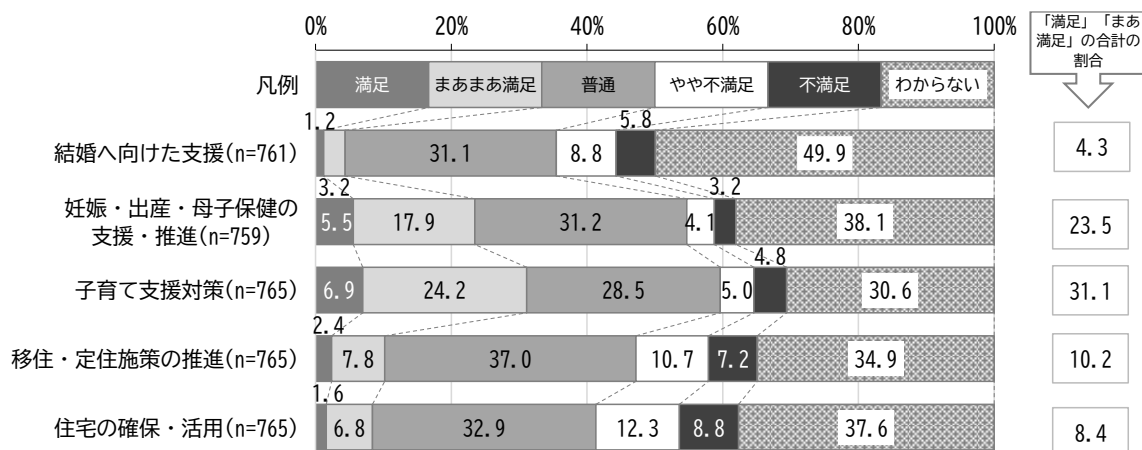


(3) 朝日村が進めている政策・施策について

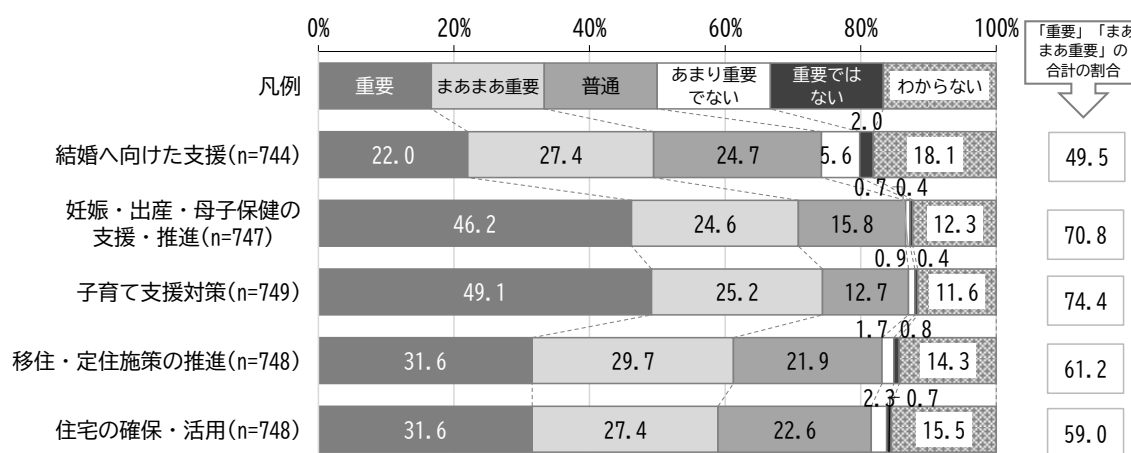
① 基本戦略Ⅰ「魅力にあふれた暮らしをしたくなる村をつくります」

- 朝日村の第6次総合計画に基づいて取り組んでいる各政策・施策についての満足度・重要度をみると、基本戦略Ⅰでは、「子育て支援対策」への満足度が31.1%と最も高く、次いで「妊娠・出産・母子保健の支援・推進」が23.5%となっている。
- 基本戦略Ⅰのなかでの重要度が高い取り組みは、「子育て支援対策」が74.4%で最も高く、次いで「妊娠・出産・母子保健の支援・推進」が70.8%となっている。

a. 満足度

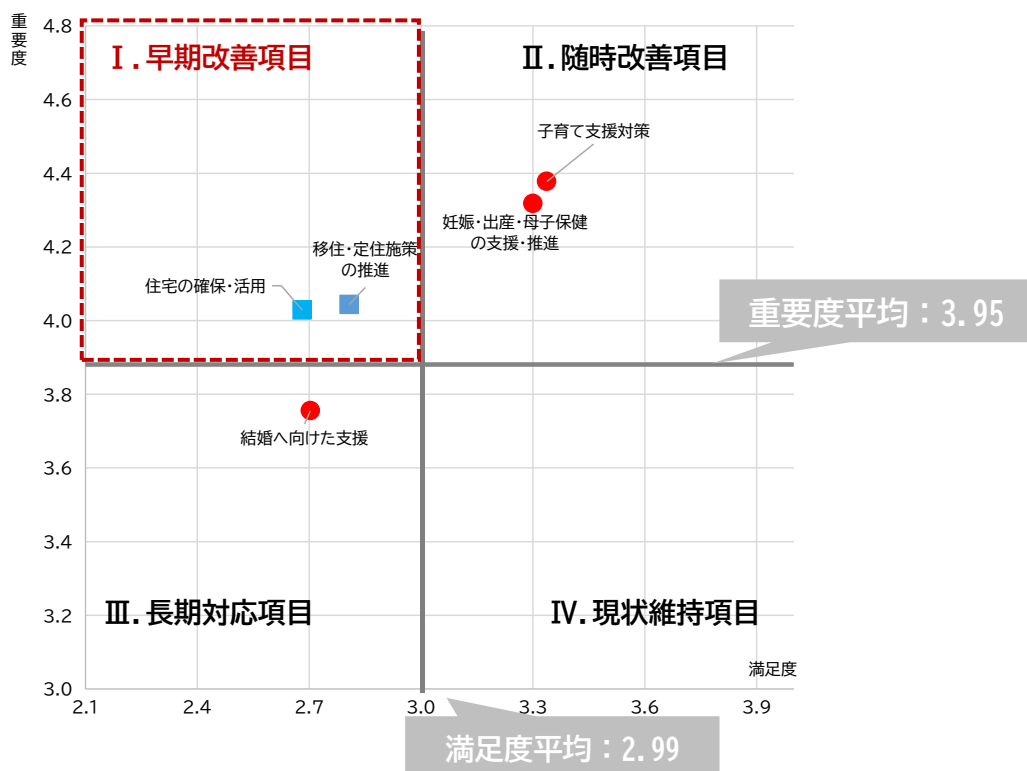


b. 重要度



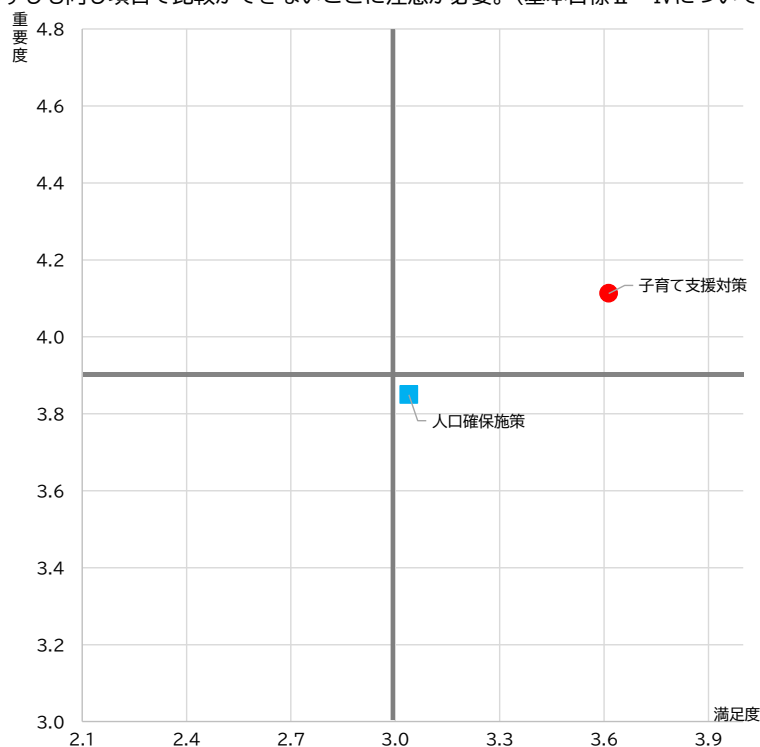
- 基本戦略Ⅰにおいて、重要度は高いが満足度が低く、優先的に充実を図るべき項目として、「住宅の確保・活用」「移住・定住施策の促進」が挙げられている。

c. 散布図²



【参考：前回（令和元年度）調査結果】

※前回の調査結果の散布図については、今回の調査結果と比較するため、平均点のラインを今回と同様に設定している。また、今回の調査では、第6次総合計画の前期期間の施策評価のため、前回の第5次総合計画の施策評価から調査項目を見直し、施策の追加・統合・細分化等を行っている。このため、必ずしも同じ項目で比較ができないことに注意が必要。（基本目標Ⅱ～Ⅳについて同様。）



² 設問の6つの回答選択肢のうち、「わからない」を除く5つの回答選択肢をそれぞれ以下の通り点数化し、「不明・無回答」を除く回答件数で除したで平均値で評価したもの。

- 満足度：「満足」を5点、「まあまあ満足」を4点、「普通」を3点、「やや不満足」を2点、「不満足」を1点
- 重要度：「重要」を5点、「まあまあ重要」を4点、「普通」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点

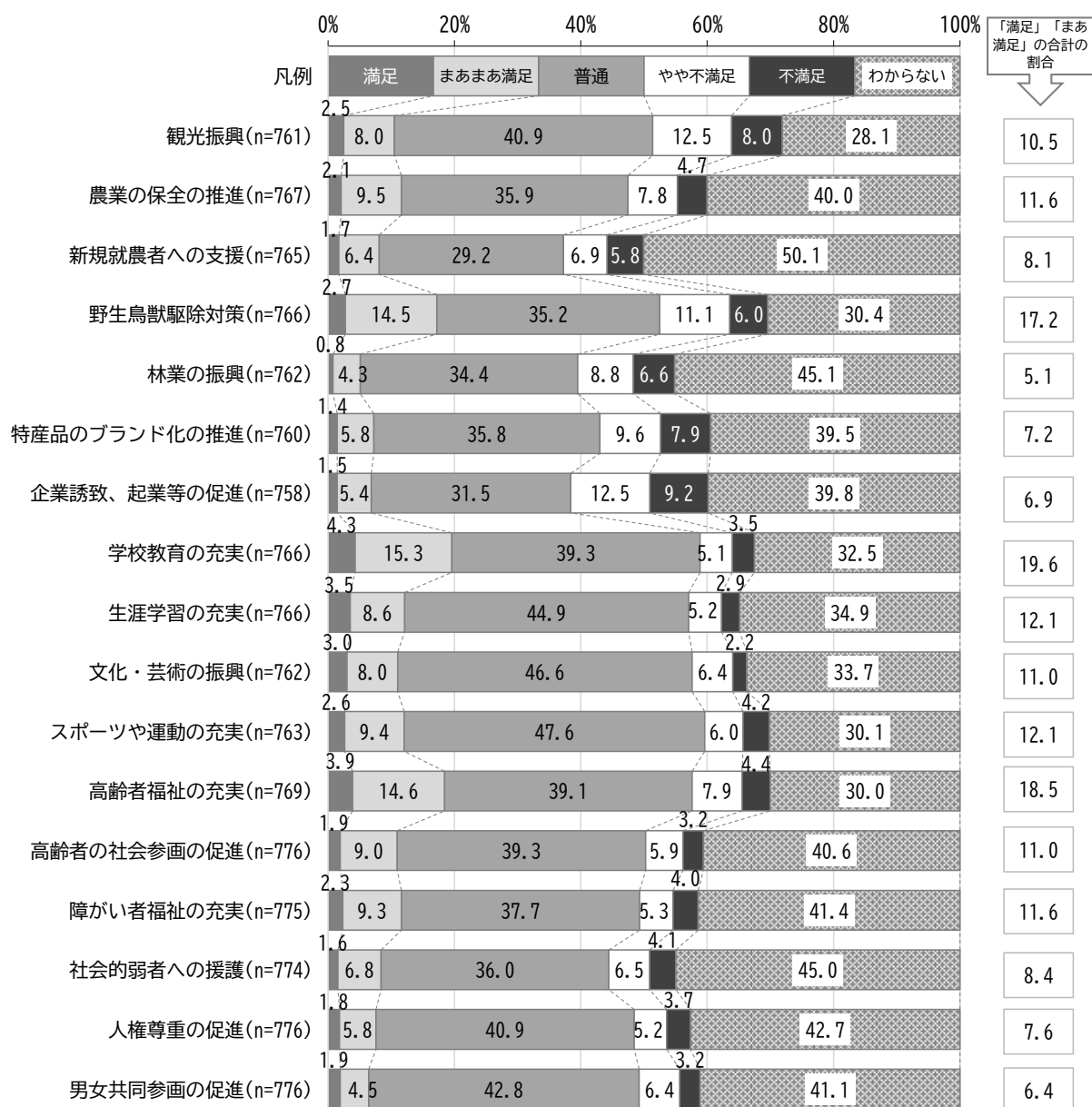
なお、散布図の見方は、次の通り。

- Ⅰ. 重点改善項目：重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
- Ⅱ. 随時改善項目：満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
- Ⅲ. 長期対応項目：満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
- Ⅳ. 現状維持項目：満足度は高く、重要度が低いため、今後満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

② 基本戦略Ⅱ「一人一人が活躍できる村をつくります」

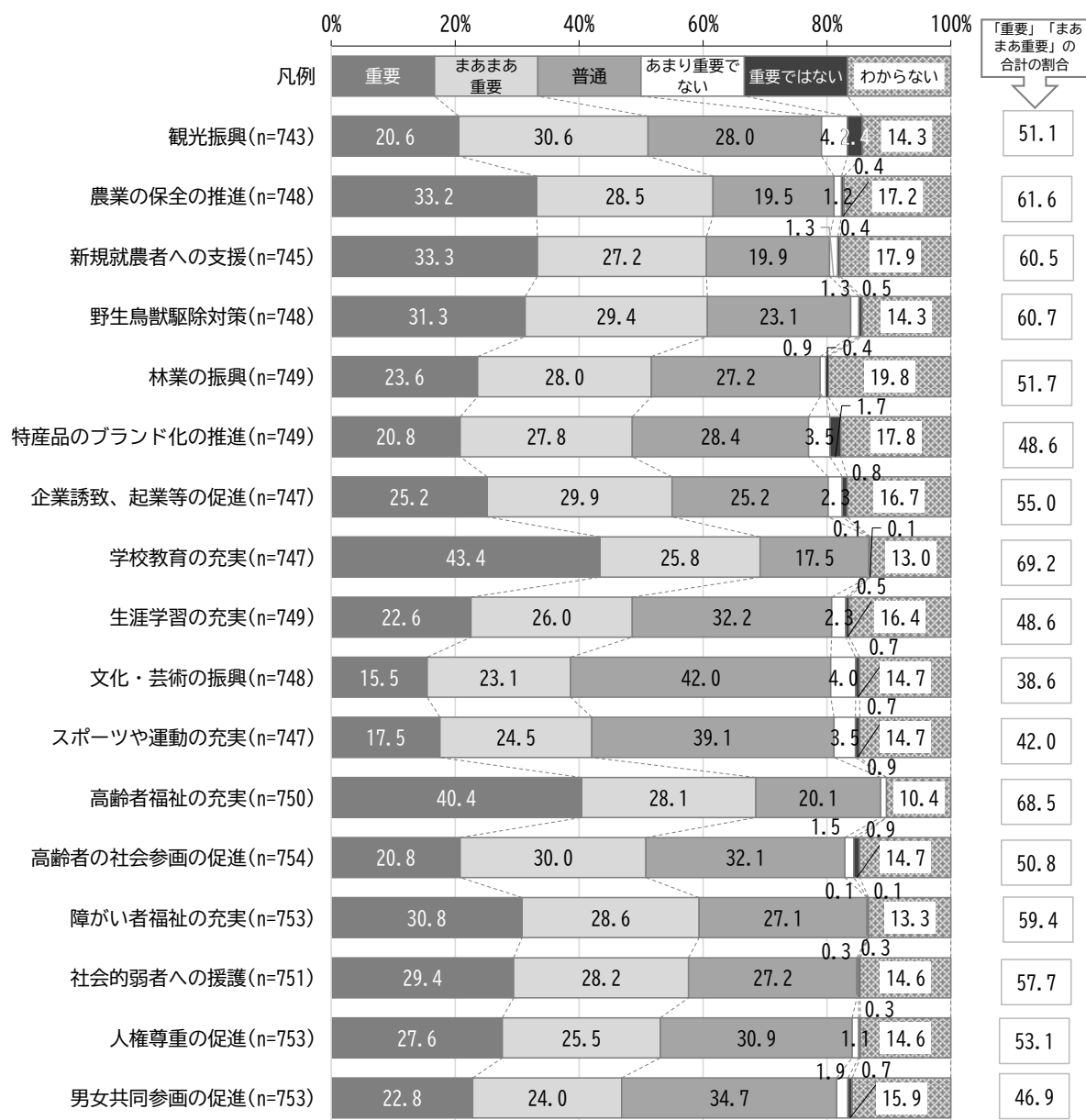
- 基本戦略Ⅱにおける満足度をみると、「学校教育の充実」が19.6%と最も高く、次いで「高齢福祉の充実」が18.5%となっている。

a. 満足度



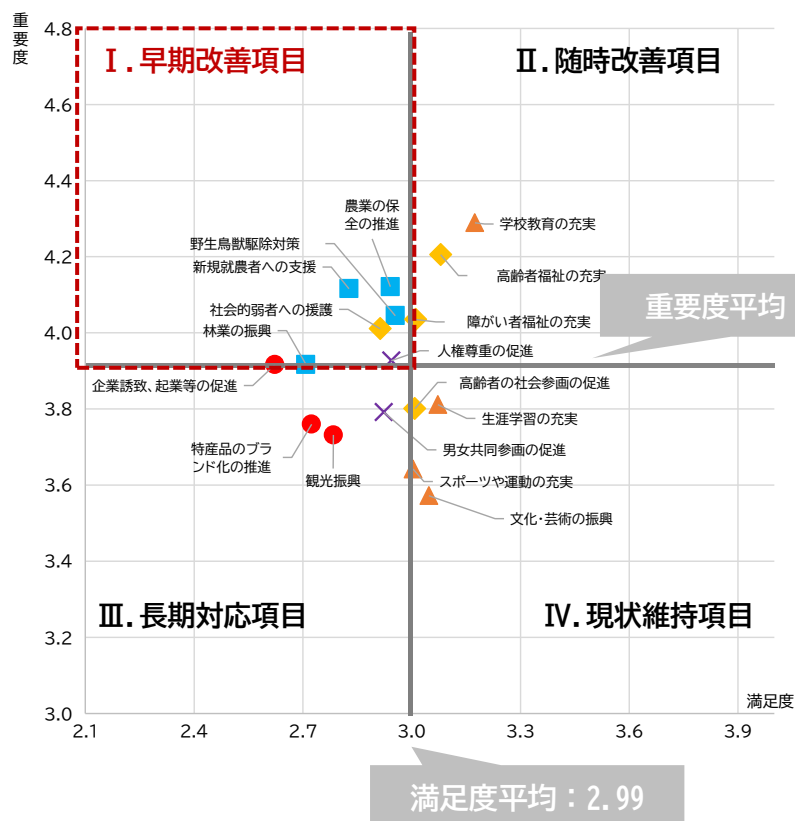
- 基本戦略Ⅱにおける重要度をみると、「学校教育の充実」が69.2%と最も高く、次いで「高齢福祉の充実」が68.5%となっている。

b. 重要度

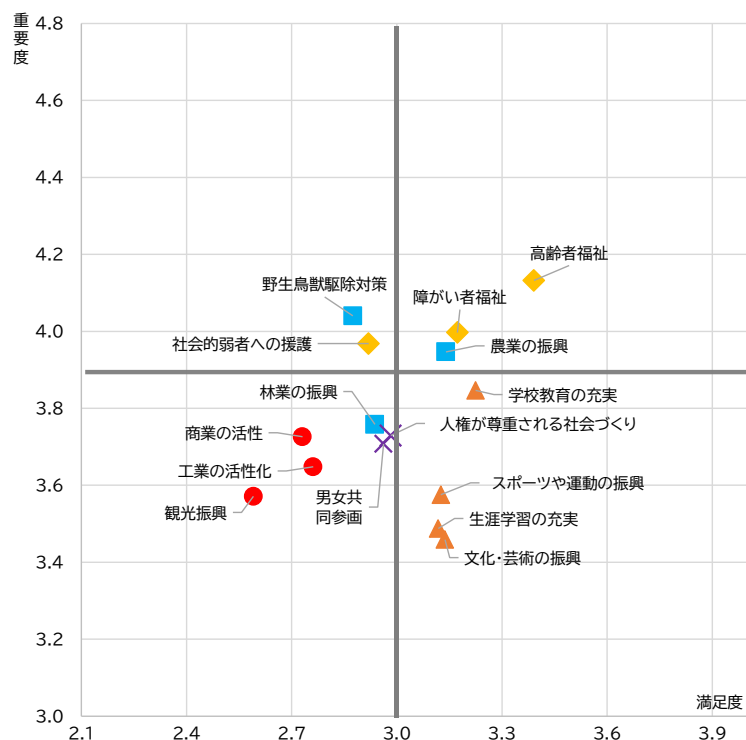


- 基本戦略Ⅱにおいて、重要度は高いが満足度が低く、優先的に充実を図るべき項目としては、「農業の保全の推進」「新規就農者への支援」「野生鳥獣駆除対策」「社会的弱者への支援」「人権尊重の推進」「林業の振興」「企業誘致、起業等の促進」が挙げられている。

c. 散布図



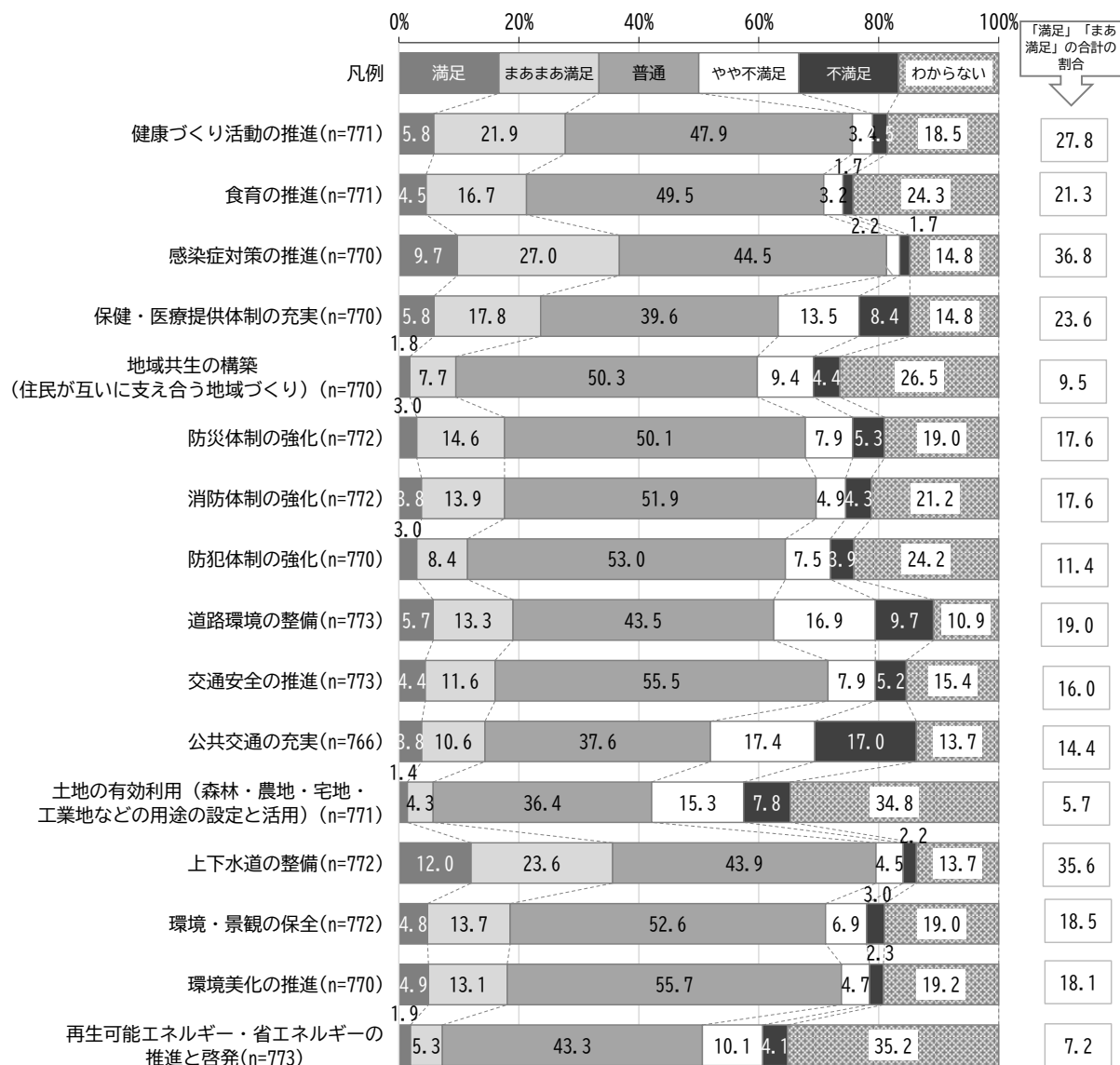
【参考：前回（令和元年度）調査結果】



③ 基本戦略Ⅲ「安心して暮らし続けられる村をつくります」

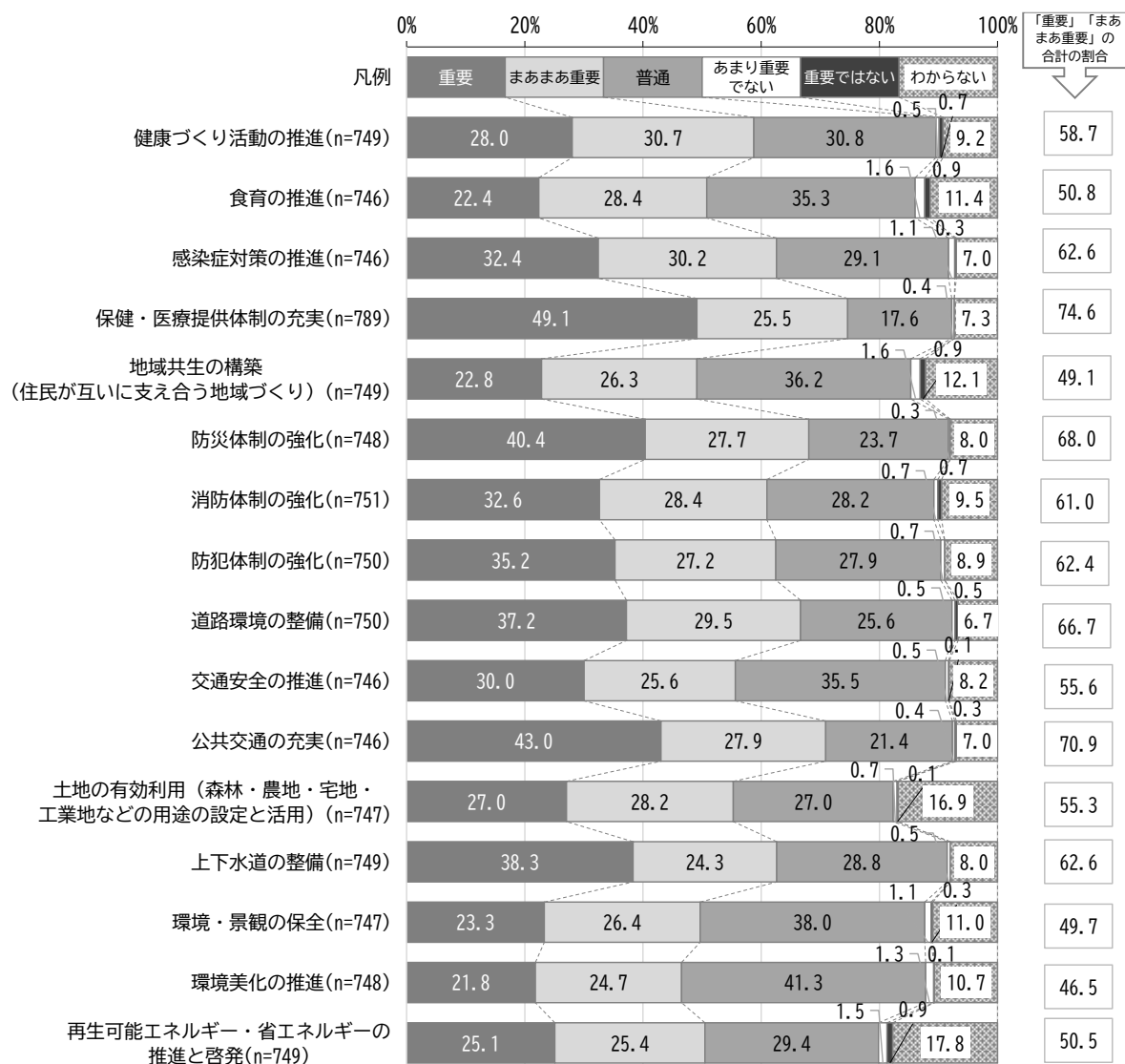
- 基本戦略Ⅲにおける満足度では、「感染症対策の充実」が36.8%と最も高く、次いで「上下水道の整備」が35.6%となっている。

a. 満足度



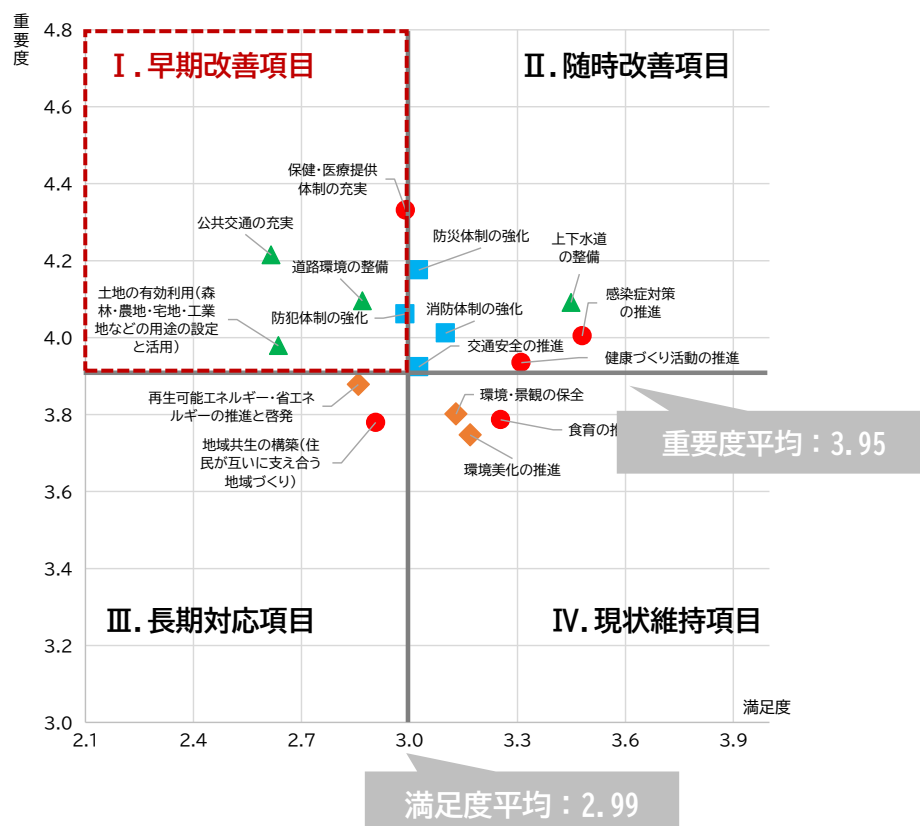
• 基本戦略Ⅲにおける重要度では、「保健・医療提供体制の充実」が74.6%と最も高く、次いで「公共交通の充実」が70.9%となっている。

b. 重要度

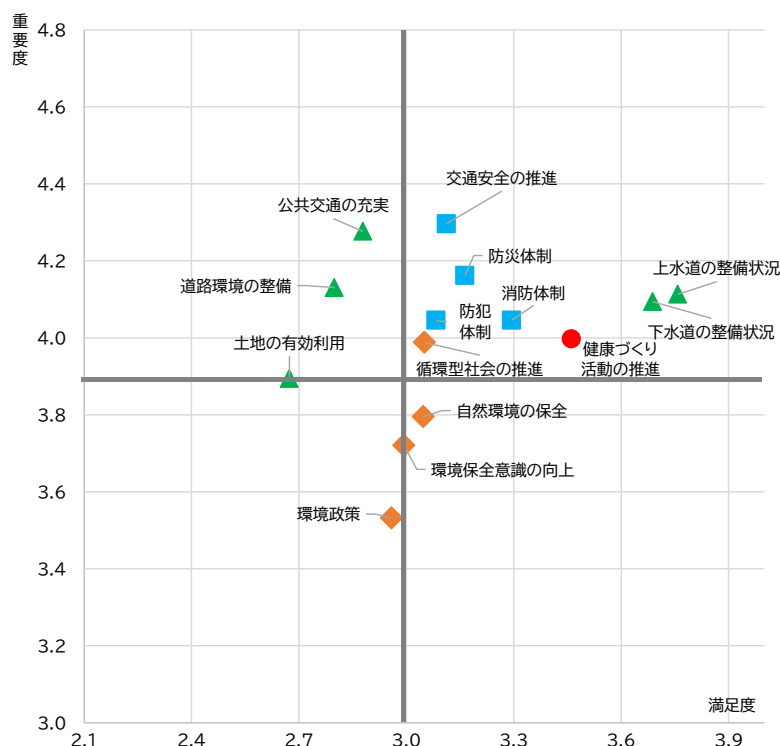


- 基本戦略Ⅲにおいて、重要度は高いが満足度が低く、優先的に充実を図るべき項目としては、「保健・医療体制の充実」「公共交通の充実」「道路環境の整備」「防犯体制の強化」「土地の有効利用（森林・農地・宅地・工業地などの用途の設定と活用）」が挙げられている。

c. 散布図



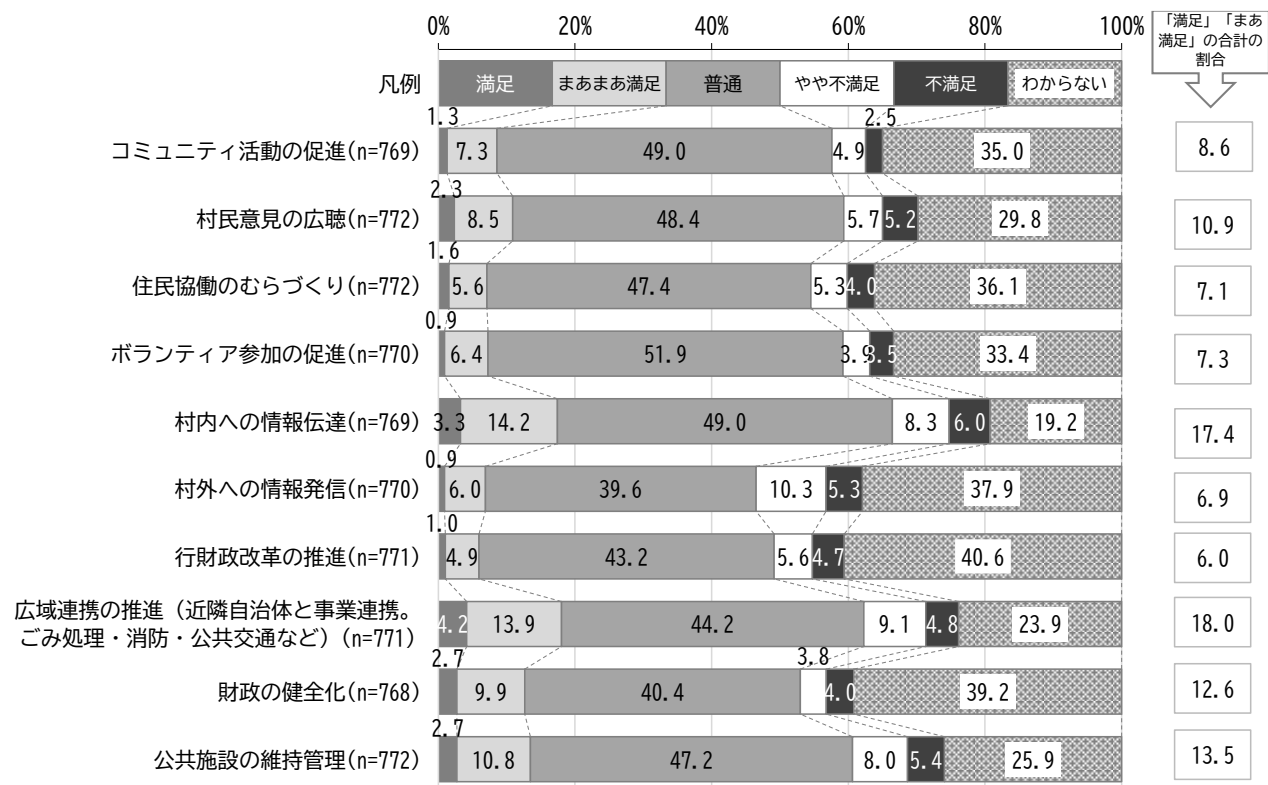
【参考：前回（令和元年度）調査結果】



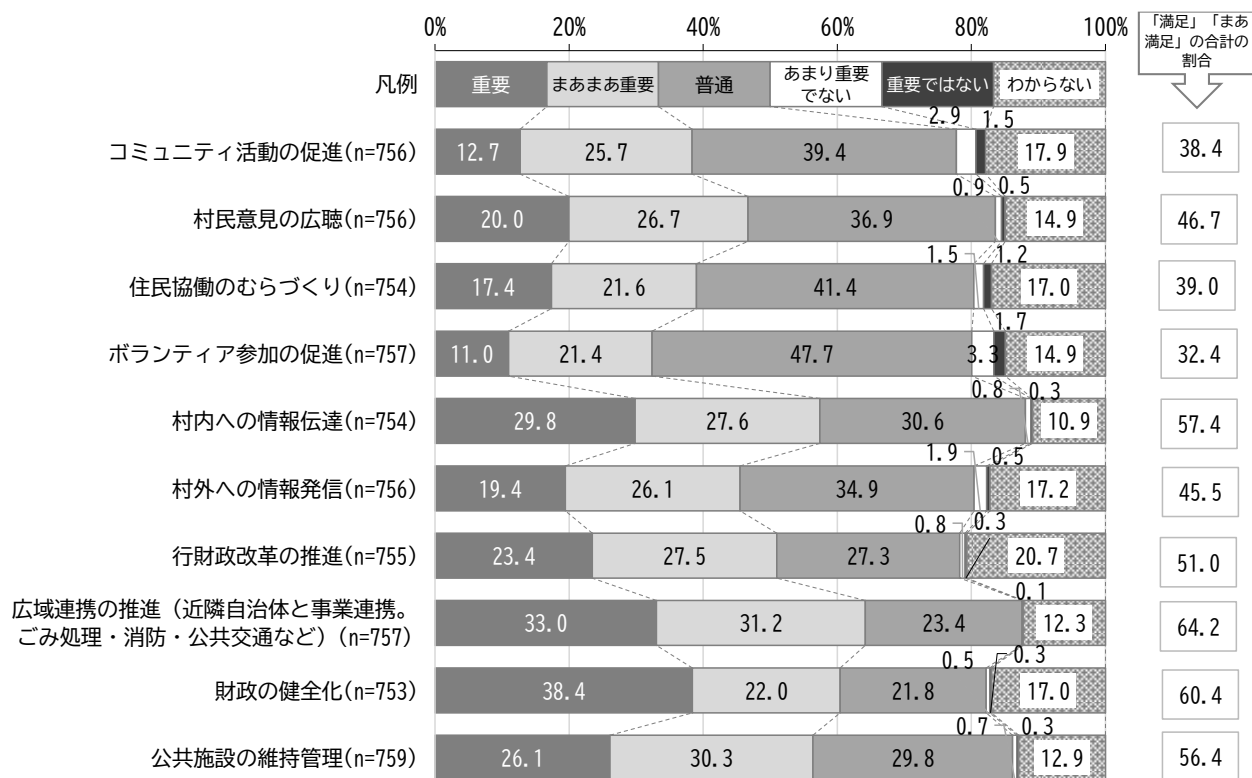
④ 基本戦略Ⅳ「未来につながる村をつくります」

- 基本戦略Ⅳにおける満足度では、「広域連携の推進（近隣自治体と事業連携。ごみ処理・消防・公共交通など）」が18.0%と最も高く、次いで「村内への情報伝達」が17.4%となっている。
- 重要度では、「広域連携の推進（近隣自治体と事業連携。ごみ処理・消防・公共交通など）」が64.2%と最も高く、次いで「財政の健全化」が60.4%となっている。

a. 満足度

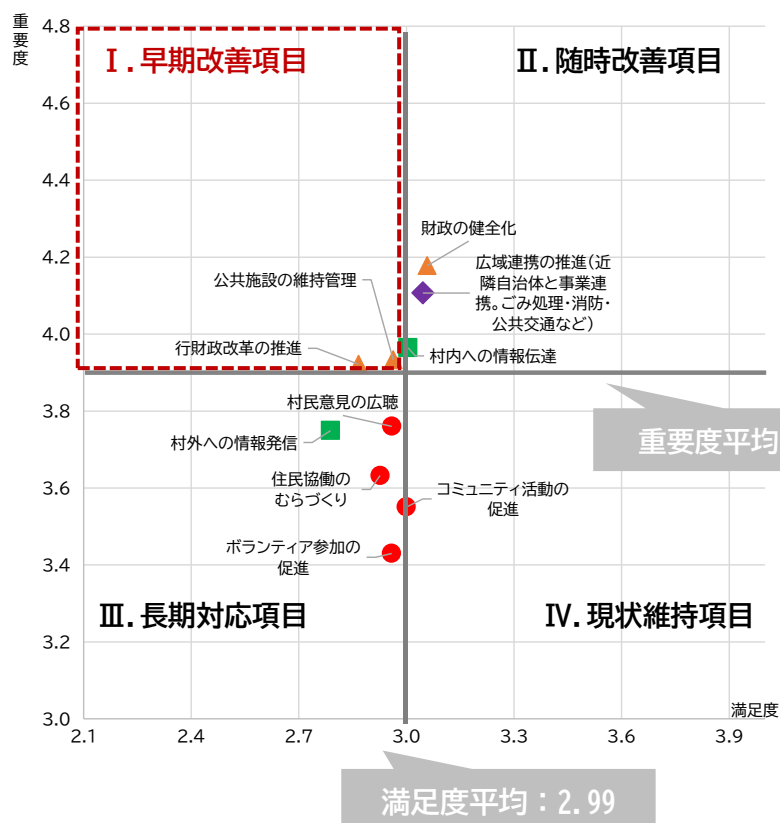


b. 重要度

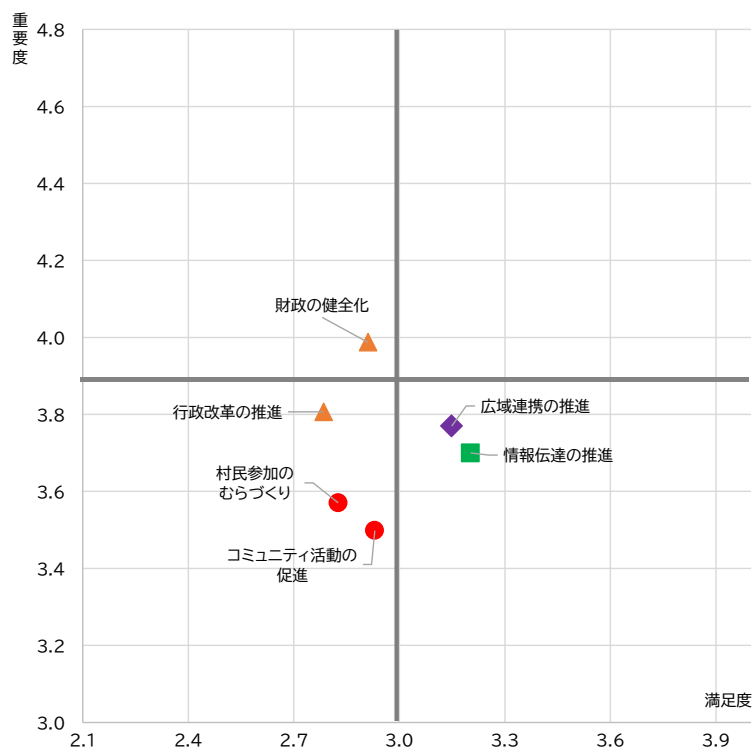


- 基本戦略Ⅳにおいて、重要度は高いが満足度が低く、優先的に充実を図るべき項目としては、「村内への情報伝達」「公共施設の維持管理」「行財政改革の推進」が挙げられている。

c. 散布図



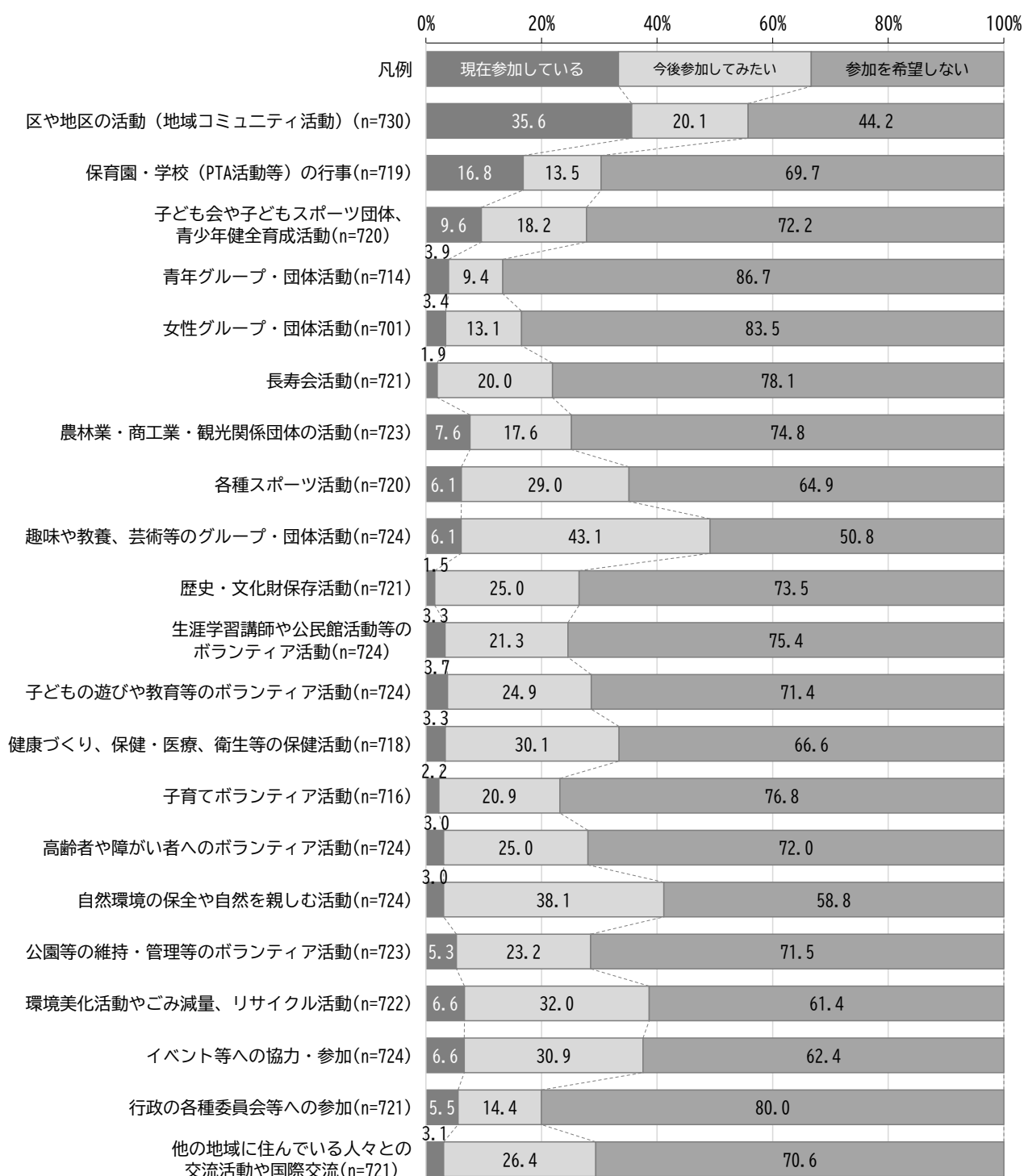
【参考：前回（令和元年度）調査結果】



(4) あなたの日ごろの活動などについて

- グループ・組織活動の状況と今後参加したい活動では、「現在参加している」と回答する活動は、「区や地区の活動（地域コミュニティ活動）」が 35.6%で最も高く、次いで「保育園・学校（PTA 活動）の行事」が 16.8%となっている。
- 「今後参加してみたい」とする活動をみると、「趣味や教養、芸術等のグループ・団体活動」が 43.1%で最も高く、次いで「自然環境の保全や自然を楽しむ活動」が 38.1%と、高くなっている。
- 前回と比較すると、**年齢では 50 代及び 70 代以上、居住地区では小野沢において、参加意向がある割合（「現在参加している」「今後参加してみたい」の合計の割合）が 10 ポイント以上減った項目が他に比べて多くなっている一方で、30 代、入三においては、参加意向がある割合が 5 ポイント以上増えた項目が比較的多くなっている。**

① ★★グループ・組織活動の状況と今後参加したい活動



➡ 前回より5ポイント以上増えた項目

↘ 前回より10ポイント以上減った項目

<参加意向がある割合 前回調査からの増減>

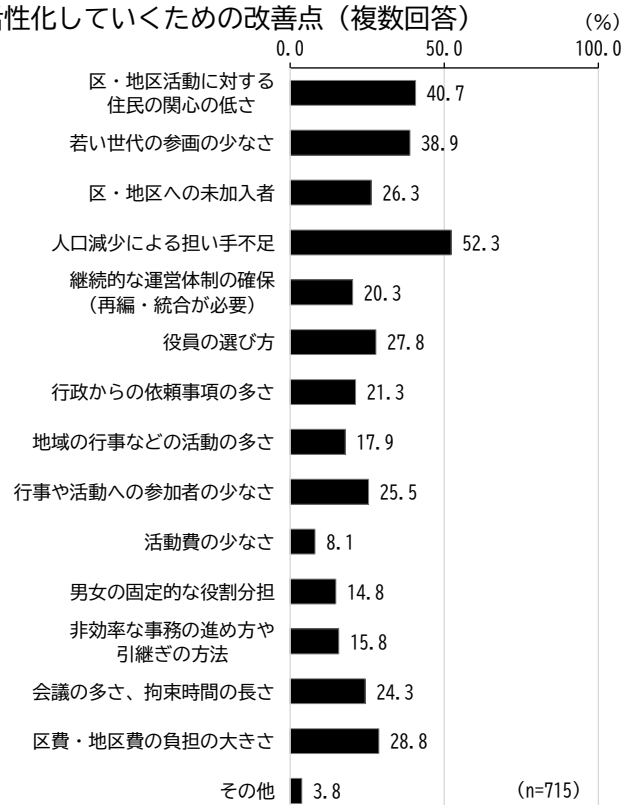
■ 気軽に参加できると考えられる項目

日頃の活動の項目	気軽さ		全体	性別		年齢						居住地域				
	単発 継続	役員あり 役員なし		男性	女性	10・ 20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	古見	入三	針尾	小野 沢	西洗 馬
区や地区の活動（地域コミュニティ活動）	継続	あり	↘		↘			↘	↘			↘			↘	
保育園・学校（PTA活動等）の行事	継続	あり			↘		↘									
子ども会や子どもスポーツ団体、青少年健全育成活動	継続	あり				➡	↘			➡			➡			
青年グループ・団体活動	継続	あり												➡	↘	➡
女性グループ・団体活動	継続	あり		↘					↘				↘			
長寿会活動	継続	あり			↘			↘					➡			
農林業・商工業・観光関係団体の活動	継続	あり					➡		↘				➡			
各種スポーツ活動	単発	なし					➡		↘		↘		➡	↘		
趣味や教養、芸術等のグループ・団体活動	単発	なし					➡	➡	↘		↘		➡		↘	
歴史・文化財保存活動	継続	あり					↘				↘		➡	➡		
生涯学習講師や公民館活動等のボランティア活動	継続	なし														
子どもの遊びや教育等のボランティア活動	継続	なし					➡	➡	↘						↘	
健康づくり、保健・医療・衛生等の保健活動	単発	なし											➡		↘	
子育てボランティア活動	継続	なし				➡	➡					➡	↘		↘	
高齢者や障がい者へのボランティア活動	継続	なし		↘					↘		↘		↘		↘	
自然環境の保全や自然を親しむ活動	単発	なし							↘	➡	↘			➡	↘	
公園等の維持・管理等のボランティア活動	単発	なし				➡						➡	↘			
環境美化活動やごみ減量、リサイクル活動	単発	なし				➡							↘		↘	
イベント等への協力・参加	単発	なし						➡					➡	↘		
行政の各種委員会等への参加	継続	あり											➡	↘		
他の地域に住んでいる人々との交流活動や国際交流	単発	なし							↘		↘			↘	↘	

- ・現在の区や地区の活動（地域コミュニティ活動）を活性化していくための改善点としては、「人口減少による担い手不足」が52.3%で最も高く、次いで「区・地区活動に対する住民の関心の低さ」で40.7%、「若い世代の参画の低さ」が38.9%となっている。
- ・性別、年齢、居住地別にみると、属性問わず「人口減少による担い手不足」が最も高くなっており、なかでも、年齢で「60代」、居住地域で「入三」「小野沢」と回答する者において高くなっている。

② 現在の区や地区の活動（地域コミュニティ活動）を活性化していくための改善点（複数回答）

	度数（人）	割合（％）
区・地区活動に対する住民の関心の低さ	291	40.7
若い世代の参画の少なさ	278	38.9
区・地区への未加入者	188	26.3
人口減少による担い手不足	374	52.3
継続的な運営体制の確保（再編・統合が必要）	145	20.3
役員の選び方	199	27.8
行政からの依頼事項の多さ	152	21.3
地域の行事などの活動の多さ	128	17.9
行事や活動への参加者の少なさ	182	25.5
活動費の少なさ	58	8.1
男女の固定的な役割分担	106	14.8
非効率な事務の進め方や引継ぎの方法	113	15.8
会議の多さ、拘束時間の長さ	174	24.3
区費・地区費の負担の大きさ	206	28.8
その他	27	3.8
回答者数	715	



<クロス集計>

		区・地区活動に対する住民の関心の低さ	若い世代の参画の少なさ	区・地区への未加入者	人口減少による担い手不足	継続的な運営体制の確保（再編・統合が必要）	役員の選び方	行政からの依頼事項の多さ	地域の行事などの活動の多さ	行事や活動への参加者の少なさ	活動費の少なさ	男女の固定的な役割分担	非効率な事務の進め方や引継ぎの方法	会議の多さ、拘束時間の長さ	区費・地区費の負担の大きさ	その他
全体		40.7	38.9	26.3	52.3	20.3	27.8	21.3	17.9	25.5	8.1	14.8	15.8	24.3	28.8	3.8
性別	男性(n=331)	40.8	39.9	33.2	51.7	21.1	29.3	24.2	19.3	22.1	11.2	15.4	14.5	22.1	24.8	5.7
	女性(n=370)	40.8	38.6	19.5	53.5	19.7	25.9	18.4	15.9	28.4	5.4	14.3	16.8	25.4	31.4	1.6
年齢	10・20代(n=52)	40.4	32.7	11.5	44.2	9.6	25.0	11.5	15.4	19.2	23.1	13.5	19.2	19.2	25.0	0.0
	30代(n=92)	37.0	41.3	16.3	44.6	23.9	33.7	17.4	21.7	21.7	7.6	15.2	29.3	46.7	29.3	4.3
	40代(n=98)	31.6	48.0	20.4	53.1	17.3	31.6	16.3	26.5	16.3	8.2	17.3	25.5	36.7	25.5	4.1
	50代(n=124)	36.3	33.1	32.3	49.2	20.2	25.8	26.6	25.0	16.9	4.8	14.5	10.5	28.2	20.2	5.6
	60代(n=150)	44.7	38.7	28.0	59.3	21.3	29.3	24.7	17.3	22.0	4.7	19.3	14.0	18.7	32.0	3.3
	70代以上(n=197)	47.2	39.1	33.0	54.3	21.8	23.9	21.8	8.6	41.6	9.1	10.7	8.6	11.2	34.0	3.6
居住地域	古見(n=287)	40.1	39.0	26.8	48.4	18.5	28.6	23.3	16.7	20.6	7.3	13.6	12.2	24.0	28.2	3.1
	入三(n=22)	54.5	50.0	31.8	68.2	27.3	9.1	9.1	4.5	27.3	13.6	9.1	18.2	18.2	13.6	4.5
	針尾(n=88)	34.1	34.1	30.7	53.4	26.1	34.1	21.6	18.2	26.1	5.7	21.6	18.2	29.5	33.0	3.4
	小野沢(n=71)	35.2	45.1	21.1	64.8	28.2	18.3	28.2	22.5	33.8	15.5	16.9	16.9	35.2	29.6	4.2
	西洗馬(n=244)	43.9	37.7	25.4	51.6	16.8	29.1	17.6	18.9	27.9	7.4	13.5	18.9	20.5	29.5	4.5

※セルの色が赤い項目は、全体よりも5ポイント以上高いことを示している。

- ・現在、区や地区（地域コミュニティ）が担っている役割について、特に重要だと考えるものでは、「高齢者世帯の見守りや雪かき、ちょっとした手助けなど、日常生活における安心をつくる役割」が 32.3%と次いで「交通安全・防犯・防災など、日常生活の安全を保ち、有事に備える役割」が 30.8%となっている。
- ・性別、年齢、居住地別にみると、属性によって重要と考えるもので異なりがみられる。性別で「男性」、年齢で「10・20代」「40代」、居住地で「入三」「小野沢」では「集会所、用水路、道路など、地域の公共施設を維持する役割」が最も多い。「女性」や、「50代」「60代」「70代以上」、「古見」「西洗馬」の属性では「高齢者世帯の見守りや雪かき、ちょっとした手助けなど、日常生活における安心をつくる役割」が最も多く挙げられている。その他、「30代」では「子どもや青少年の見守り、放課後の居場所づくりなど、子どもの成長を支援する役割」、「針尾」では「交通安全・防犯・防災など、日常生活の安全を保ち、有事に備える役割」が最も多い。

③ 現在、区や地区（地域コミュニティ）が担っている役割について、特に重要だと考えるもの
（複数回答、上位3つまで）

	度数（人）	割合（%）
地域に関わる行政への要望のとりまとめや地域の問題の解決に向けた活動等、自治を担う役割	181	24.7
集会所、用水路、道路など、地域の公共施設を維持する役割	221	30.2
祭りやイベントなど、地域住民の交流を促し親睦を深める役割	132	18.0
草刈りやごみ拾いなど、地域の環境を美しく快適に維持する役割	158	21.6
高齢者世帯の見守りや雪かき、ちょっとした手助けなど、日常生活における安心をつくる役割	237	32.3
交通安全・防犯・防災など、日常生活の安全を保ち、有事に備える役割	226	30.8
ラジオ体操や食生活の改善など、地域住民の健康をつくる役割	17	2.3
子どもや青少年の見守り、放課後の居場所づくりなど、子どもの成長を支援する役割	155	21.1
役場などの広報物の配布や募金活動など、公益的な仕事を担う役割	46	6.3
どれも重要であり、選ぶことができない	120	16.4
どれも重要ではない	25	3.4
その他	8	1.1
回答者数	733	



<クロス集計>

	地域に関わる行政への要望のとりまとめや地域の問題の解決に向けた活動等、自治を担う役割	集会所、用水路、道路など、地域の公共施設を維持する役割	祭りやイベントなど、地域住民の交流を促し親睦を深める役割	草刈りやごみ拾いなど、地域の環境を美しく快適に維持する役割	高齢者世帯の見守りや雪かき、ちょっとした手助けなど、日常生活における安心をつくる役割	交通安全・防犯・防災など、日常生活の安全を保ち、有事に備える役割	ラジオ体操や食生活の改善など、地域住民の健康をつくる役割	子どもや青少年の見守り、放課後の居場所づくりなど、子どもの成長を支援する役割	役場などの広報物の配布や募金活動など、公益的な仕事を担う役割	どれも重要であり、選ぶことができない	どれも重要ではない	その他
全体	24.7	30.2	18.0	21.6	32.3	30.8	2.3	21.1	6.3	16.4	3.4	1.1
性別												
男性(n=339)	28.6	33.6	20.4	20.6	28.3	32.4	1.5	15.9	6.8	15.3	3.5	0.6
女性(n=381)	21.5	27.6	16.0	22.3	36.0	29.7	2.9	25.7	6.0	17.6	2.9	1.0
年齢												
10・20代(n=52)	19.2	32.7	26.9	28.8	23.1	28.8	1.9	25.0	3.8	17.3	3.8	1.9
30代(n=92)	19.6	27.2	26.1	13.0	23.9	31.5	0.0	37.0	1.1	15.2	9.8	1.1
40代(n=101)	25.7	31.7	25.7	24.8	22.8	34.7	2.0	28.7	6.9	8.9	5.9	1.0
50代(n=131)	24.4	26.0	9.9	15.3	35.1	31.3	3.8	23.7	7.6	18.3	3.8	1.5
60代(n=151)	30.5	31.8	17.2	23.8	35.1	29.1	1.3	12.6	6.0	19.2	1.3	1.3
70代以上(n=204)	23.5	31.4	14.2	24.5	39.7	30.4	3.4	14.2	7.8	16.7	0.5	0.5
居住地												
古見(n=297)	23.9	32.7	17.5	21.5	33.3	30.0	3.0	19.2	6.1	17.5	4.4	1.3
入三(n=25)	40.0	52.0	28.0	24.0	28.0	32.0	4.0	8.0	8.0	8.0	8.0	0.0
針尾(n=87)	19.5	24.1	14.9	11.5	33.3	34.5	2.3	24.1	6.9	18.4	1.1	1.1
小野沢(n=74)	21.6	37.8	18.9	16.2	33.8	32.4	1.4	14.9	4.1	14.9	2.7	0.0
西洗馬(n=248)	26.6	25.0	18.5	26.6	31.0	30.2	1.6	25.8	6.5	15.3	2.8	1.2

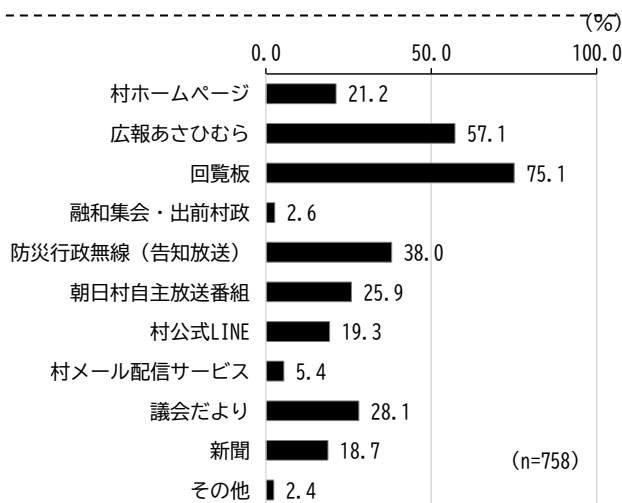
※セルの色が赤い項目は、全体よりも5ポイント以上高いことを示している。

(5) 行政の広報・広聴、DX、住民参加などについて

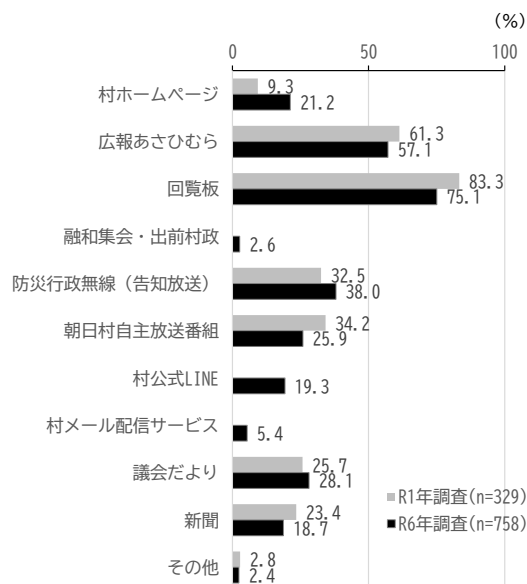
- ・村の行政情報の入手先としては、「回覧板」が75.1%で最も高く、次いで「広報あさひむら」が57.1%と高くなっている。

① 村の行政情報の入手先（複数回答）

	度数（人）	割合（％）
村ホームページ	161	21.2
広報あさひむら	433	57.1
回覧板	569	75.1
融和集会・出前村政	20	2.6
防災行政無線（告知放送）	288	38.0
朝日村自主放送番組	196	25.9
村公式LINE	146	19.3
村メール配信サービス	41	5.4
議会だより	213	28.1
新聞	142	18.7
その他	18	2.4
回答者数	758	



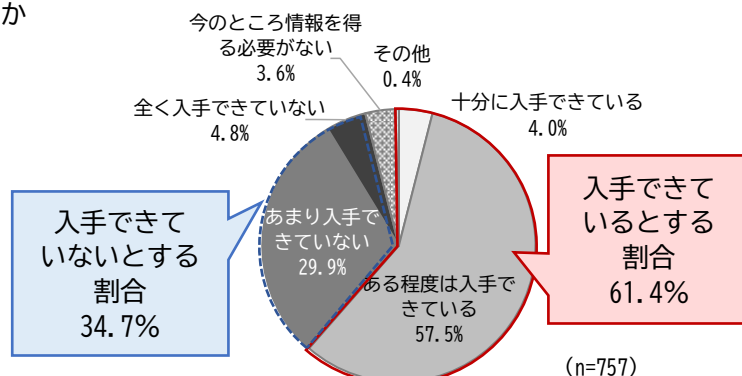
★＜前回比較＞



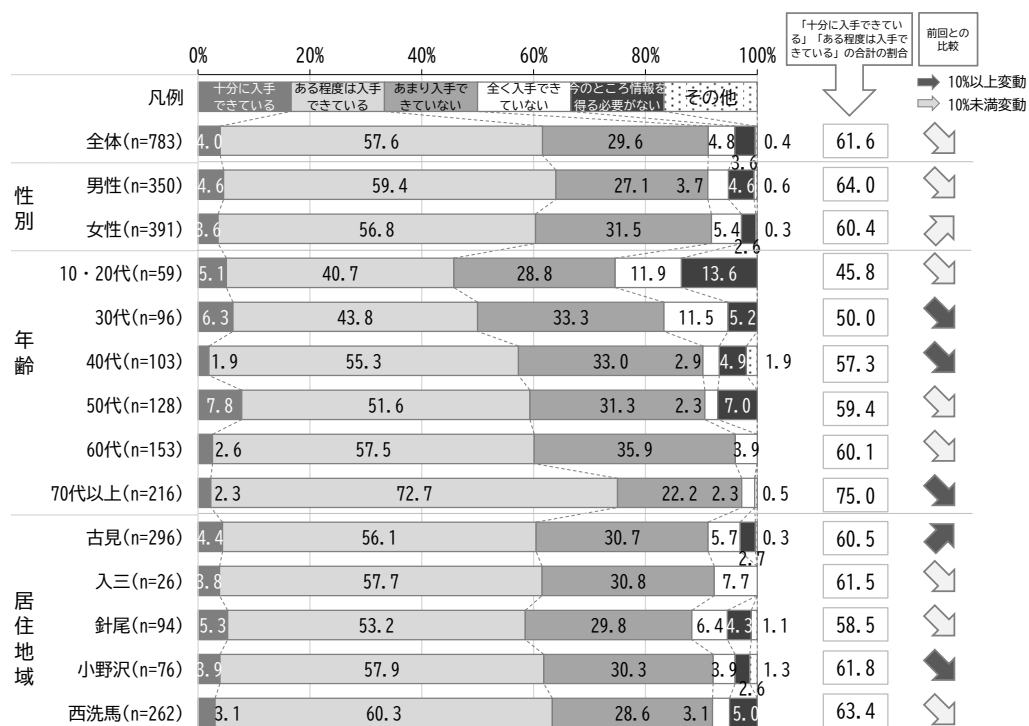
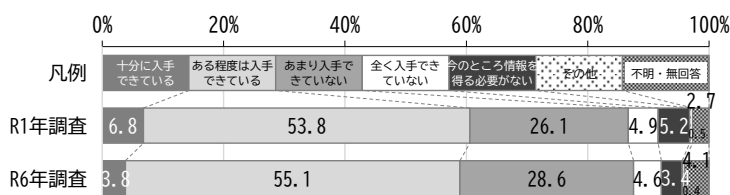
- 行政情報について十分に入手できていると感じるかについては、入手できているとする割合（「十分に入手できている」「ある程度はできている」の合計の割合）は 61.5%で、入手できていないとする割合（「あまり入手できていない」「全く入手できていない」の合計の割合）は 34.7%となっている。
- 前回調査と比較すると、暮らしやすいと感じる割合は 2.7 ポイント低くなっている。
- 性別、年齢、居住地別にそれぞれみると、年齢では、「10・20 代」「30 代」において入手できているとする割合が全体よりも 5 ポイント以上低くなっている一方で、「70 代」においては 10 ポイント以上高くなっている。また、前回と比較すると、年齢では「30 代」「40 代」「70 代以上」、居住地区では「小野沢」において、入手できているとしている割合は 10 ポイント以上減っている一方で、「古見」では 10 ポイント以上増えている。

② 行政情報について十分に入手できていると感じるか

	度数（人）	割合（%）
十分に入手できている	30	4.0
ある程度は入手できている	435	57.5
あまり入手できていない	226	29.9
全く入手できていない	36	4.8
今のところ情報を得る必要がない	27	3.6
その他	3	0.4
合計	757	100.0



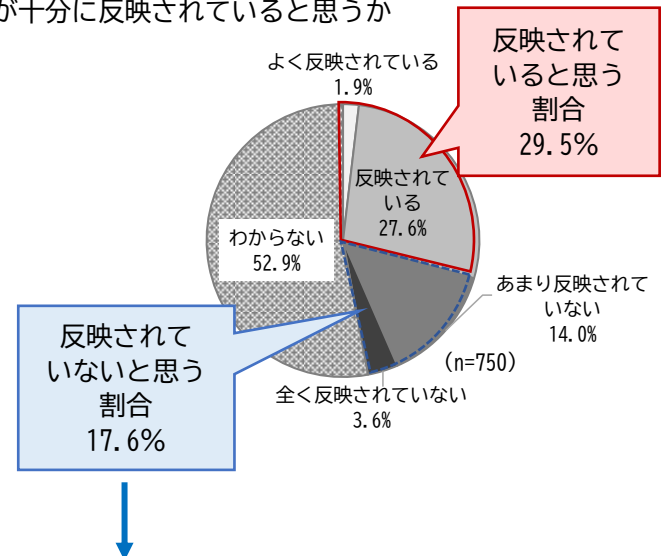
★＜前回比較＞



- 村役場が施策や事業を決定するにあたり、村民の意見が十分に反映されていると思うかについて、反映されていると思う割合（「よく反映されている」「反映されている」の合計の割合）は 29.5%で、反映されていないと思う割合（「あまり反映されていない」「全く反映されていない」の合計の割合）は 17.6%となっている。なお、「わからない」が 52.9%と半数以上を占めている。
- 反映されていないと感じたきっかけは、情報開示の不十分さや、公平な村民の意見集約の場のなさ等の情報の不透明性についての意見が多くみられた。

③ 村役場が施策や事業を決定するにあたり、村民の意見が十分に反映されていると思うか

	度数（人）	割合（％）
よく反映されている	14	1.9
反映されている	207	27.6
あまり反映されていない	105	14.0
全く反映されていない	27	3.6
わからない	397	52.9
合計	750	100.0



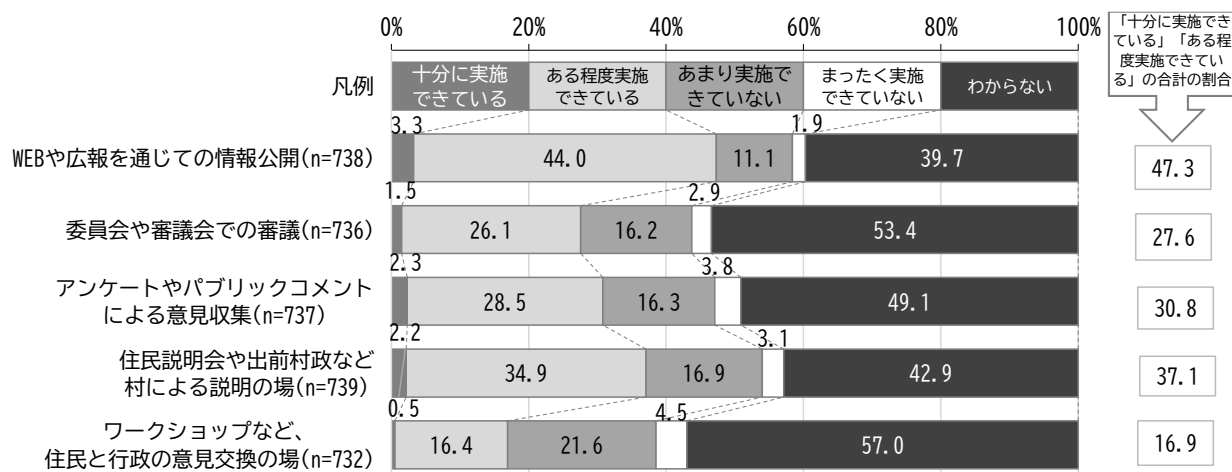
④ 「あまり反映されていない」「全く反映されていない」と感じたきっかけ

対象	主な意見	回答数
行政の対応（全般的）	村民の困りごとや要望への対応が不十分 事業の実施予定や実施結果がわからないなど	38
公共施設	「保育所」の解体や跡地利用 他「水力発電所」「村営住宅」「防災センター」「墓地」など	34
意見集約・広報	公平に意見が集約されたり伝えられていない	32
防災・安全・交通	除雪対応や、通学路の整備など	15
子育て支援	目玉政策のわりに、意見聴取の機会が少ない	7
その他	税金の投入対象や、事業の進め方が非効率	18

(n=89)

- 朝日村の住民参加の状況についての評価をみると、「WEB や広報を通じての情報公開」は47.3%が実施できている（「十分に実施できている」「ある程度実施できている」の合計、以後、「実施できている」とする）としており、最も評価が高い。一方で、「ワークショップなど、住民と行政の意見交換の場」は16.9%と評価が低くなっている。

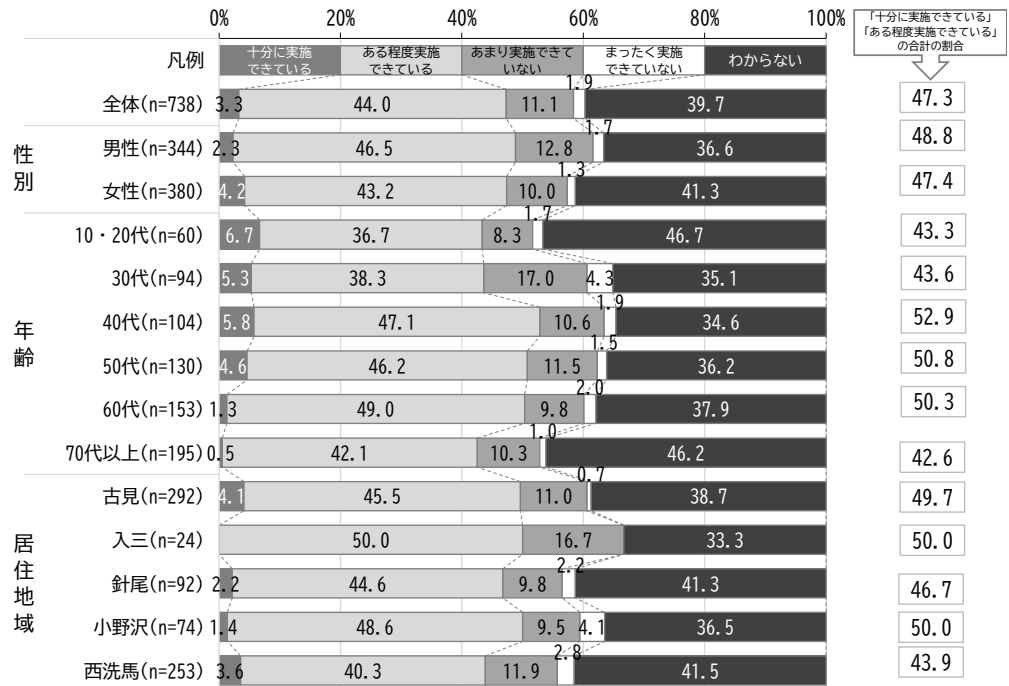
⑤ 朝日村の住民参加の状況についての評価



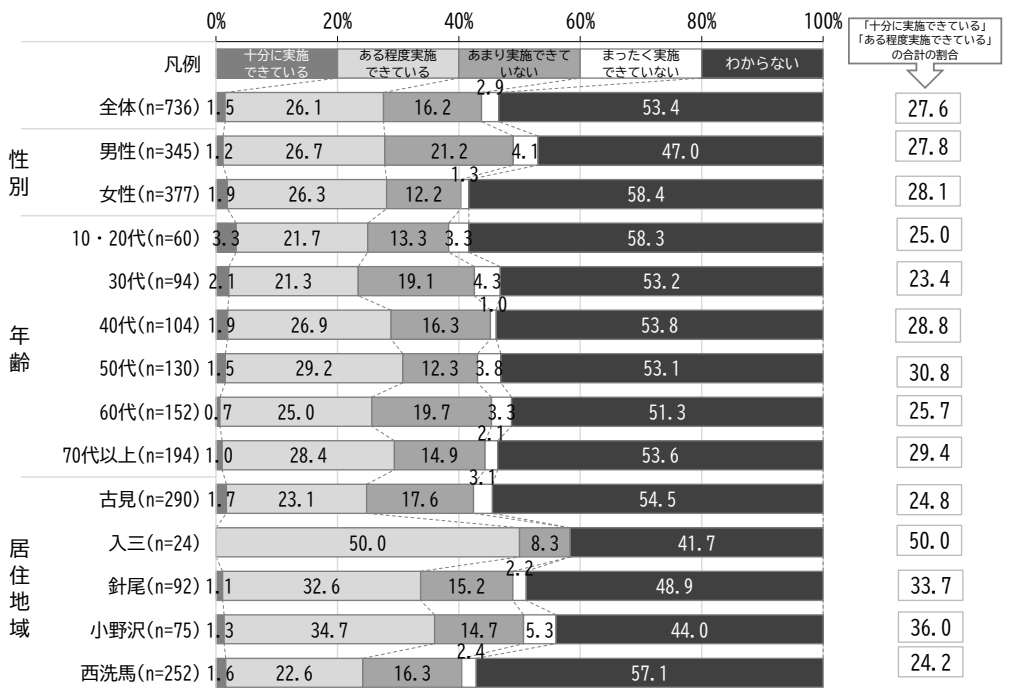
- 朝日村の住民参加の状況についての評価についてそれぞれ性別、年齢、居住地域別にみると、WEB や広報を通じての情報公開については、年齢で「40 代」と回答する者において、「実施できている」と思う割合が全体よりも 5.6 ポイント高くなっている。なお、全体よりも 5 ポイント以上低い層はみられない。
- 委員会や審議会での審議では、居住地域で「入三」「針尾」「小野沢」と回答する者において、「実施できている」と思う割合が全体よりも 5 ポイント以上高くなっている。なお、5 ポイント以上低い層はみられない。

<クロス集計>

a. WEB や広報を通じての情報公開

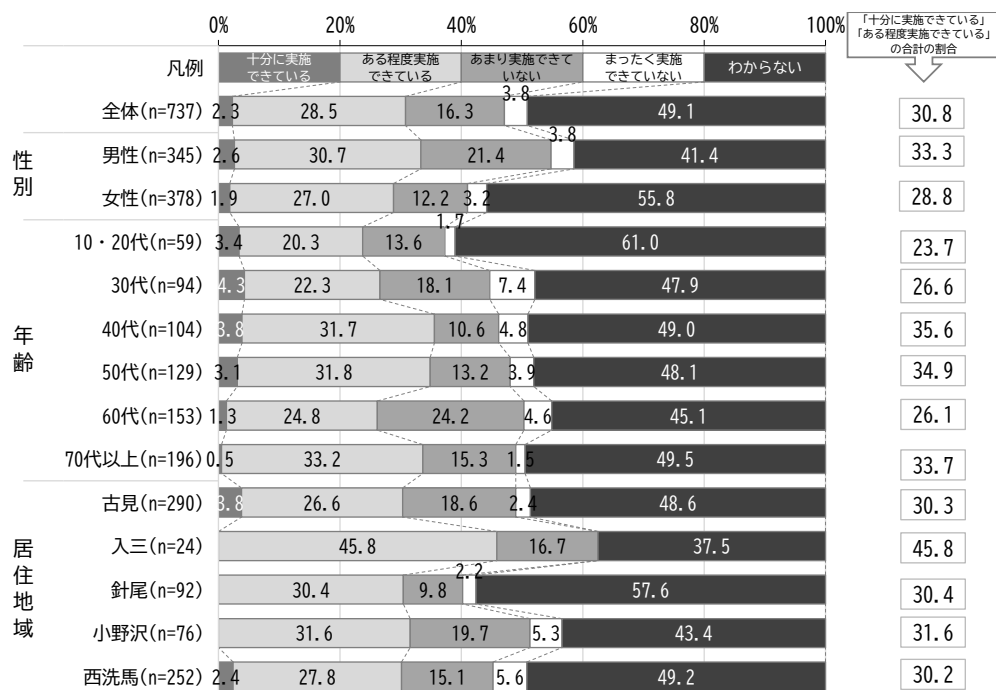


b. 委員会や審議会での審議

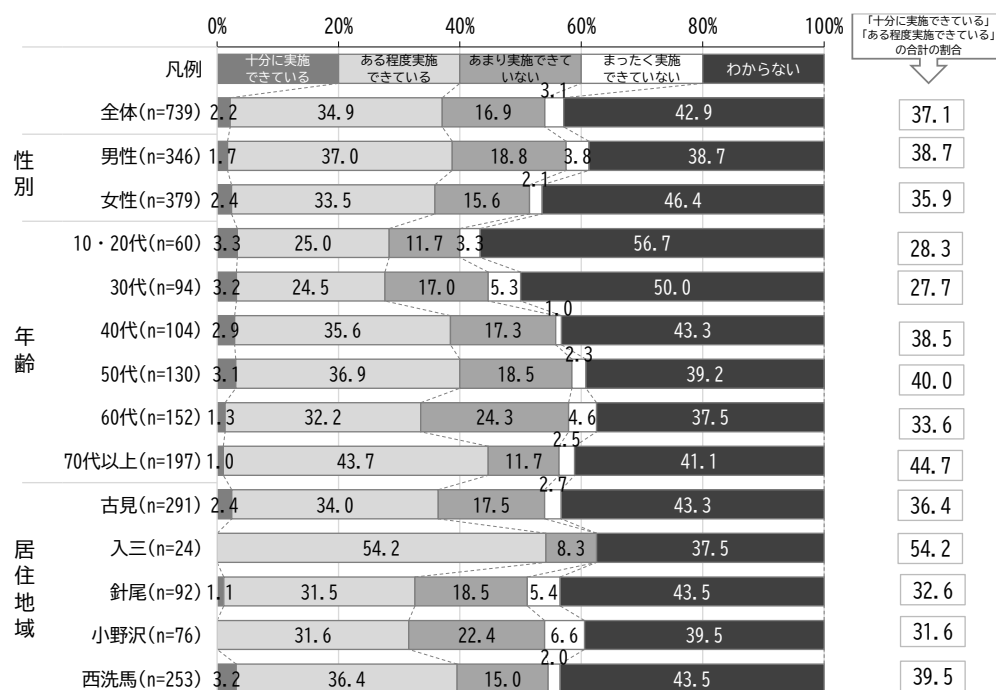


- アンケートやパブリックコメントによる意見収集については、年齢で「40代」と回答する者において、「実施できている」と思う割合が全体よりも5.6ポイント高くなっている。一方、年齢で「10・20代」と回答する者は全体よりも7.1ポイント低くなっている。
- 住民説明会や出前村政など村による説明の場では、居住地域で「入三」と回答する者において、「実施できている」と思う割合が全体よりも17.1ポイント高くなっている。一方、年齢で「10・20代」「30代」、居住地域で「小野沢」と回答する者は全体よりも5ポイント以上低い。

c. アンケートやパブリックコメントによる意見収集

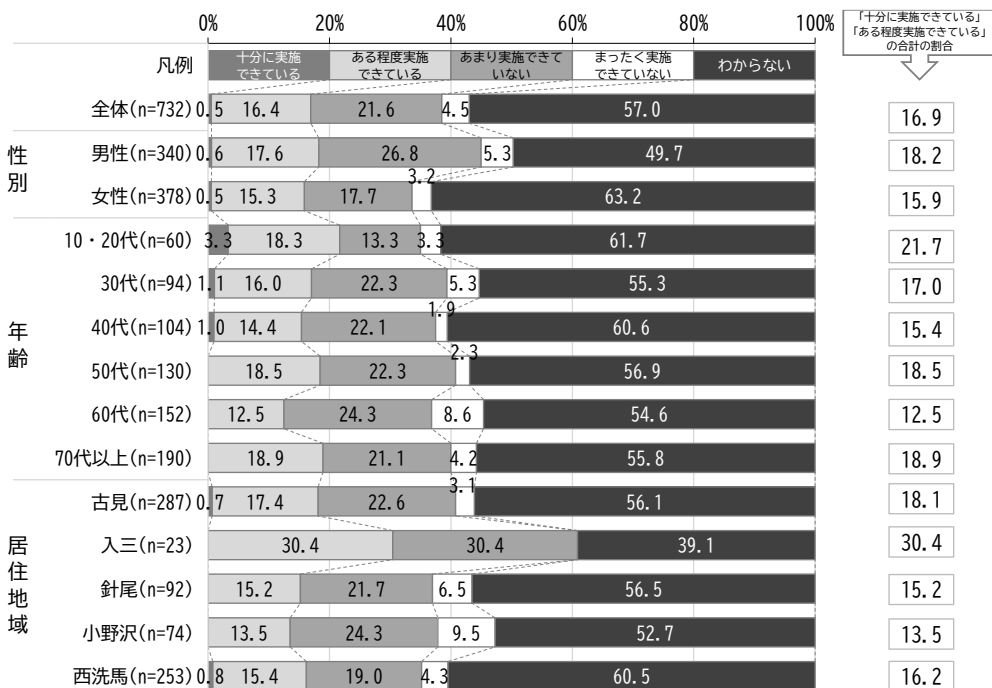


d. 住民説明会や出前村政など村による説明の場



- ワークショップなど、住民と行政の意見交換の場については、居住地域で「入三」と回答する者において、「実施できている」と思う割合が全体よりも 13.5 ポイント高くなっている。なお、全体よりも 5 ポイント以上低い者はみられない。

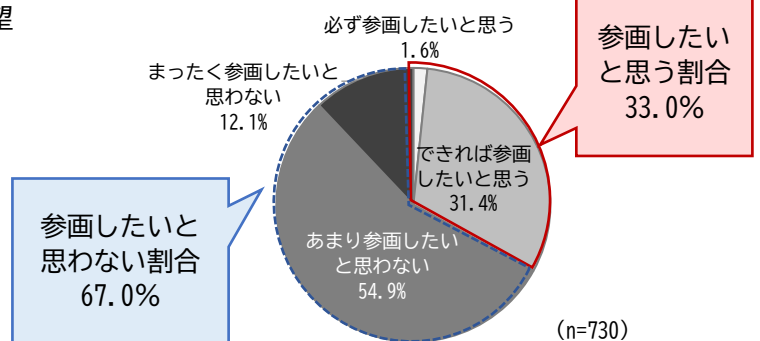
e. ワークショップなど、住民と行政の意見交換の場



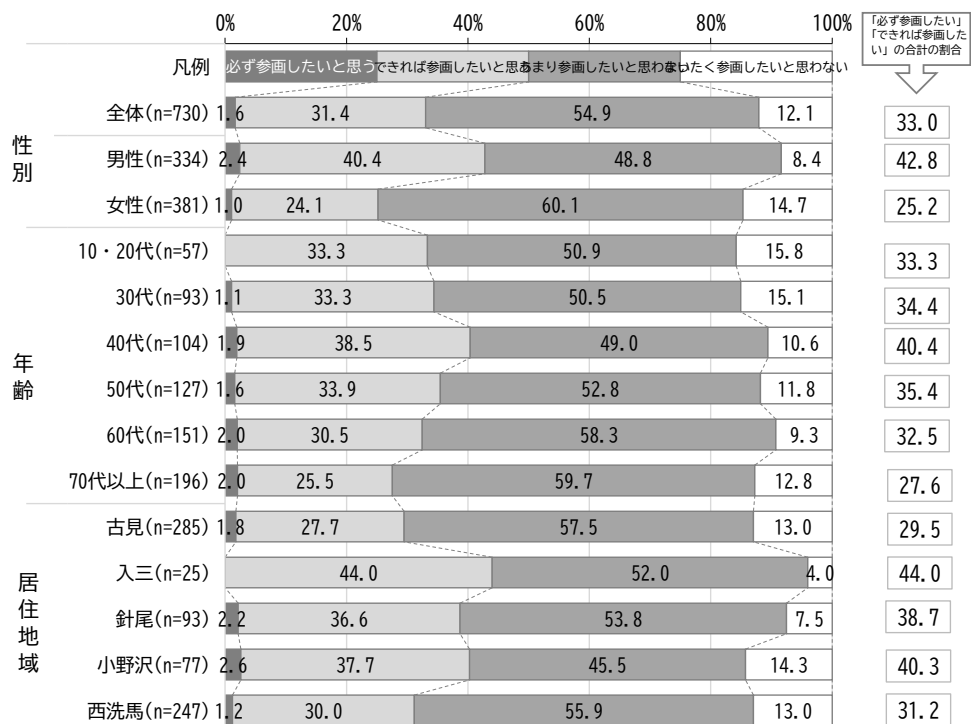
- 関心のある施策や事業に関する機会への参画希望は、参画したいと思う割合（「必ず参画したい」「できれば参画したいと思う」の合計の割合）は 33.0%で、参画したいと思わない割合（「あまり参画したいと思わない」「まったく参画したいと思わない」の合計の割合）は 67.0%と、参画したいと思わない割合が高くみられる。
- 性別、年齢、居住地域別にみると、年齢で「40代」、居住地域で「入三」「針尾」「小野沢」と回答する者において参画したいと希望する割合が高くみられる。

⑥ 関心のある施策や事業に関する機会への参画希望

	度数（人）	割合（％）
必ず参画したいと思う	12	1.6
できれば参画したいと思う	229	31.4
あまり参画したいと思わない	401	54.9
まったく参画したいと思わない	88	12.1
合計	730	100.0



<クロス集計>

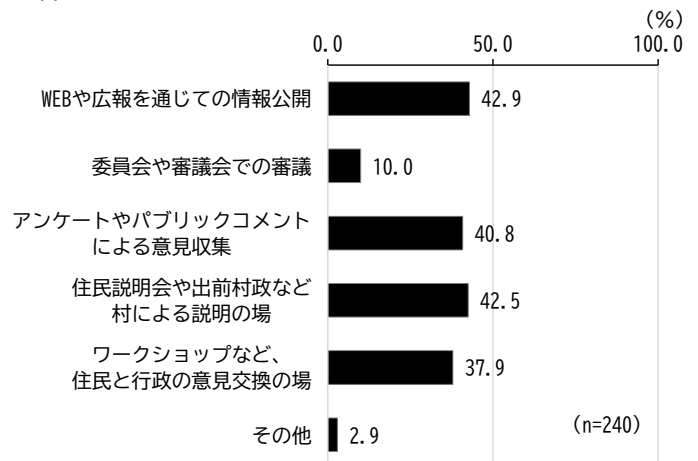


- ・関心のある施策や事業に関する機会へ参画したい者における希望する住民参画の方法としては、「WEB や広報を通じての情報公開」が 42.9%で最も高く、次いで「住民説明会や出前村政など村による説明の場」が 42.5%となっている。
- ・性別、年齢、居住地域別にみると、「WEB や広報を通じての情報公開」の希望が多いのは、性別では「女性」、年齢では「10・20代」「30代」「40代」「50代」、居住地域では「古見」「針尾」となっている。また、「住民説明会や出前村政など村による説明の場」の希望が多いのは、性別では「男性」、年齢では「60代」「70代以上」、居住地域では「入三」「小野沢」「西洗馬」となっている。

<回答者：関心のある施策や事業に関する機会へ参画したい者>

⑦ 希望する住民参画の方法（複数回答）

	度数（人）	割合（％）
WEBや広報を通じての情報公開	103	42.9
委員会や審議会での審議	24	10.0
アンケートやパブリックコメントによる意見収集	98	40.8
住民説明会や出前村政など村による説明の場	102	42.5
ワークショップなど、住民と行政の意見交換の場	91	37.9
その他	7	2.9
回答者数	240	



<クロス集計>

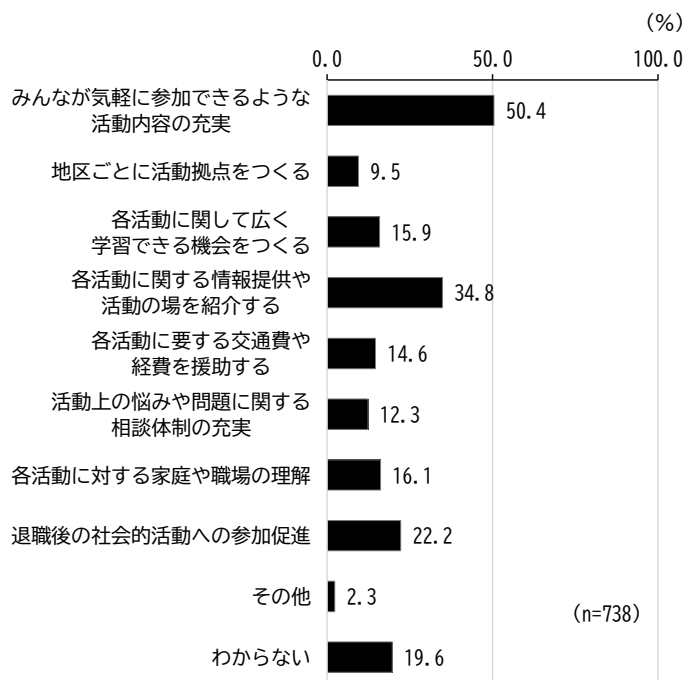
		WEBや広報を通じての情報公開	委員会や審議会での審議	アンケートやパブリックコメントによる意見収集	住民説明会や出前村政など村による説明の場	ワークショップなど、住民と行政の意見交換の場	その他
全体		42.9	10.0	40.8	42.5	37.9	2.9
性別	男性(n=142)	38.7	11.3	38.0	51.4	38.0	1.4
	女性(n=96)	49.0	8.3	45.8	30.2	37.5	4.2
年齢	10・20代(n=19)	47.4	5.3	21.1	26.3	42.1	0.0
	30代(n=32)	59.4	6.3	56.3	28.1	28.1	6.3
	40代(n=42)	50.0	9.5	47.6	26.2	35.7	0.0
	50代(n=44)	52.3	6.8	52.3	25.0	38.6	4.5
	60代(n=49)	42.9	16.3	32.7	55.1	36.7	6.1
	70代以上(n=54)	18.5	11.1	31.5	72.2	44.4	0.0
居住地域	古見(n=83)	49.4	9.6	42.2	41.0	33.7	2.4
	入三(n=11)	18.2	18.2	36.4	54.5	27.3	0.0
	針尾(n=36)	44.4	11.1	30.6	41.7	41.7	2.8
	小野沢(n=31)	32.3	9.7	35.5	41.9	32.3	0.0
	西洗馬(n=77)	42.9	9.1	46.8	41.6	44.2	5.2

(6) 今後の村の活性化のためのアイデアについて

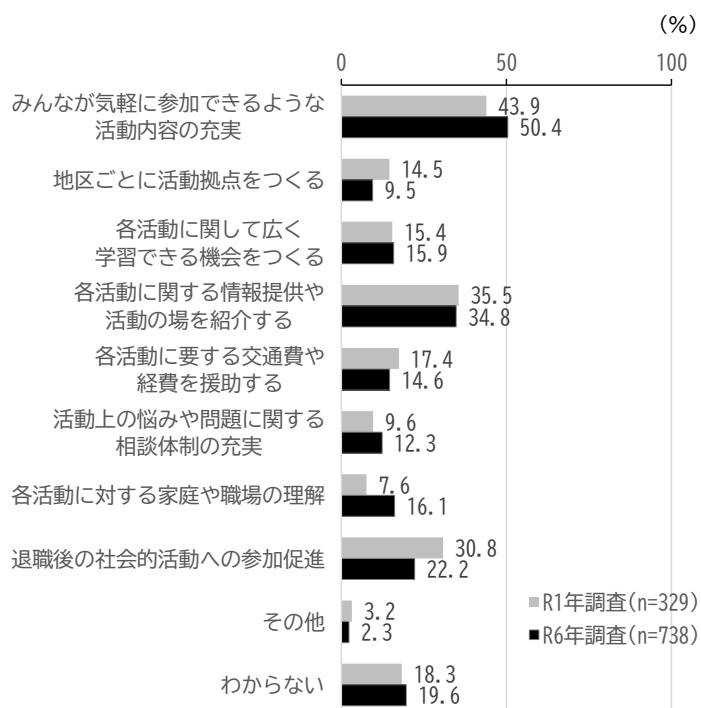
- 今後、村内のグループや組織の活動が活発になるために必要だと思うこととして、「みんなが気軽に参加できるような活動内容の充実」が50.4%と最も高く、次いで「各活動に関する情報提供や活動の場を紹介する」が34.8%で高くなっている。
- 性別、年齢、居住地域別にみると、属性問わず「みんなが気軽に参加できるような活動内容の充実」都会とする割合が最も高く、なかでも、居住地域で「入三」と回答した者において全体よりも12.6ポイント高くなっている。

① 今後、村内のグループや組織の活動が活発になるために必要だと思うこと（複数回答、上位3つまで）

	度数（人）	割合（％）
みんなが気軽に参加できるような活動内容の充実	372	50.4
地区ごとに活動拠点をつくる	70	9.5
各活動に関して広く学習できる機会をつくる	117	15.9
各活動に関する情報提供や活動の場を紹介する	257	34.8
各活動に要する交通費や経費を援助する	108	14.6
活動上の悩みや問題に関する相談体制の充実	91	12.3
各活動に対する家庭や職場の理解	119	16.1
退職後の社会的活動への参加促進	164	22.2
その他	17	2.3
わからない	145	19.6
回答者数	738	



★＜前回比較＞



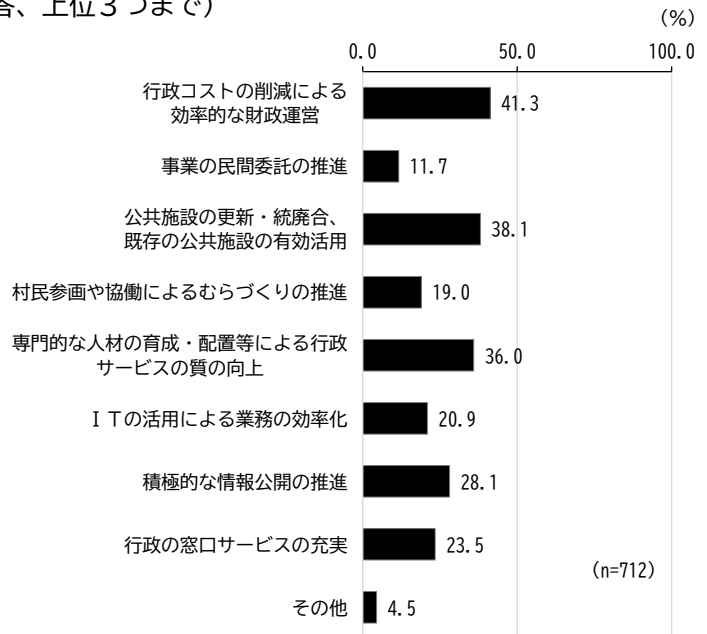
<クロス集計>

		みんなが気軽に参加できるような活動内容の充実	地区ごとに活動拠点をつくる	各活動に関して広く学習できる機会をつくる	各活動に関する情報提供や活動の場を紹介する	各活動に要する交通費や経費を援助する	活動上の悩みや問題に関する相談体制の充実	各活動に対する家庭や職場の理解	退職後の社会的活動への参加促進	その他	わからない
全体		50.4	9.5	15.9	34.8	14.6	12.3	16.1	22.2	2.3	19.6
性別	男性(n=346)	52.6	10.7	17.3	34.7	15.6	13.3	15.9	22.8	3.2	17.9
	女性(n=377)	48.8	8.2	15.1	34.7	12.7	11.7	16.2	22.3	1.3	21.2
年齢	10・20代(n=58)	55.2	5.2	13.8	19.0	25.9	15.5	27.6	13.8	0.0	20.7
	30代(n=95)	48.4	2.1	10.5	30.5	27.4	14.7	30.5	13.7	4.2	16.8
	40代(n=102)	53.9	4.9	11.8	36.3	15.7	12.7	19.6	23.5	2.9	17.6
	50代(n=125)	38.4	5.6	15.2	36.0	12.0	9.6	15.2	31.2	3.2	20.0
	60代(n=154)	51.9	10.4	17.5	39.0	11.7	16.2	14.9	24.7	3.2	16.2
	70代以上(n=202)	55.0	18.3	19.8	36.6	8.9	8.9	5.9	20.3	0.5	23.8
居住地域	古見(n=290)	50.7	5.5	13.8	33.4	14.1	13.1	14.5	22.8	2.1	22.4
	入三(n=27)	63.0	7.4	11.1	37.0	14.8	7.4	25.9	14.8	0.0	18.5
	針尾(n=91)	48.4	12.1	13.2	36.3	15.4	7.7	17.6	20.9	3.3	19.8
	小野沢(n=74)	44.6	17.6	21.6	33.8	17.6	14.9	17.6	27.0	4.1	13.5
	西洗馬(n=253)	51.0	11.1	18.2	35.2	13.8	13.0	16.2	21.7	2.0	18.6

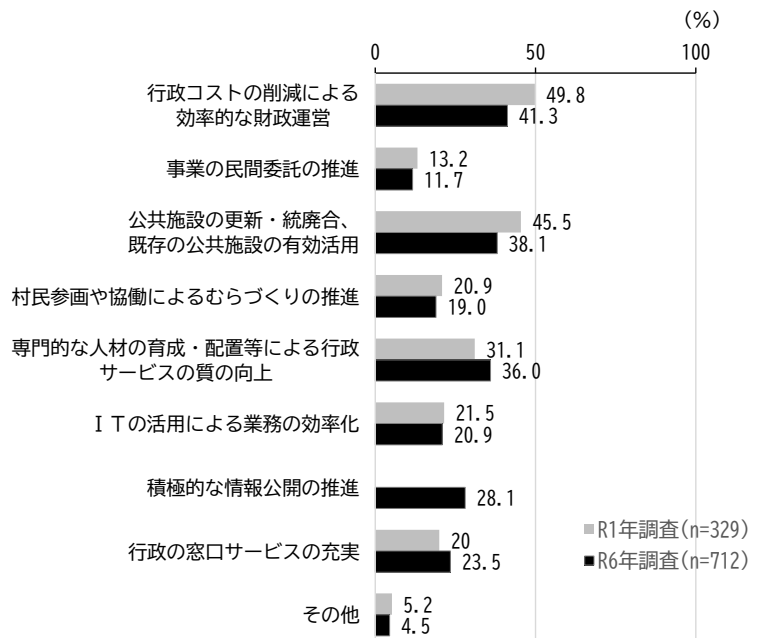
- ・村の行財政改革で重点を置くべきことについては、「行政コストの削減による効率的な財政運営」が 41.3%で最も高く、次いで「公共施設の更新・統廃合、既存の公共施設の有効活用」が 38.1%、「専門的な人材の育成・配置等による行政サービスの質の向上」が 36.0%となっている。
- ・性別、年齢、居住地域別にみると、「行政コストの削減による効率的な財政運営」が最も多いのは、性別では男女ともに、年齢では「30代」「40代」「50代」「70代以上」、居住地域では「古見」「小野沢」「西洗馬」となっている。また、「公共施設の更新・統廃合、既存の公共施設の有効活用」が最も多いのは、年齢では「10・20代」、居住地域では「入三」「針尾」となっている。なお、「60代」では、「専門的な人材の育成・配置等による行政サービスの質の向上」の割合が最も高くなっている。

② 村の行財政改革で重点を置くべきこと（複数回答、上位3つまで）

	度数（人）	割合（％）
行政コストの削減による効率的な財政運営	294	41.3
事業の民間委託の推進	83	11.7
公共施設の更新・統廃合、既存の公共施設の有効活用	271	38.1
村民参画や協働によるむらづくりの推進	135	19.0
専門的な人材の育成・配置等による行政サービスの質の向上	256	36.0
I Tの活用による業務の効率化	149	20.9
積極的な情報公開の推進	200	28.1
行政の窓口サービスの充実	167	23.5
その他	32	4.5
回答者数	712	



★＜前回比較＞



<クロス集計>

		行政コスト の削減による 効率的な 財政運営	事業の民間 委託の推進	公共施設の 更新・統廃 合、既存の 公共施設の 有効活用	村民参画や 協働による むらづくり の推進	専門的な人 材の育成・ 配置等による 行政サー ビスの質の 向上	I T の活用 による業務 の効率化	積極的な情 報公開の推 進	行政の窓口 サービスの 充実	その他
	全体	41.3	11.7	38.1	19.0	36.0	20.9	28.1	23.5	4.5
性別	男性(n=337)	41.8	14.8	39.8	22.3	34.1	25.8	25.5	21.1	5.0
	女性(n=360)	40.6	8.6	36.7	16.1	38.3	16.4	30.3	25.0	3.6
年齢	10・20代(n=53)	30.2	11.3	39.6	22.6	28.3	26.4	32.1	18.9	7.5
	30代(n=92)	38.0	15.2	33.7	14.1	21.7	38.0	25.0	25.0	7.6
	40代(n=101)	39.6	12.9	32.7	15.8	35.6	25.7	28.7	17.8	6.9
	50代(n=120)	41.7	10.8	37.5	18.3	27.5	28.3	28.3	24.2	5.0
	60代(n=148)	38.5	11.5	39.9	18.2	48.6	17.6	29.1	25.0	2.0
	70代以上(n=196)	48.5	10.2	41.3	23.0	39.8	7.1	27.6	25.0	2.6
	古見(n=278)	41.4	13.3	38.8	16.2	34.2	25.2	27.3	21.9	6.1
居住地域	入三(n=26)	50.0	3.8	61.5	15.4	46.2	11.5	30.8	23.1	0.0
	針尾(n=87)	39.1	10.3	46.0	18.4	42.5	17.2	25.3	21.8	3.4
	小野沢(n=73)	45.2	9.6	39.7	23.3	23.3	15.1	24.7	39.7	1.4
	西洗馬(n=245)	40.0	11.0	31.8	20.8	38.8	20.4	31.0	20.8	4.5

今後の村づくりについての意見や提案についての自由記述を、基本戦略ごとにまとめた。全般的には、基本戦略Ⅰ、Ⅳにおいて意見が多くなっている。

- 基本戦略Ⅰ「魅力にあふれ、暮らしたくなる村をつくります」についての意見や提案の数は、移住・定住が最も多く、次いで子育てとなっている。いずれも P.22 において重要度が高い分野であり、本結果からも重要度の高さが伺える。
- 基本戦略Ⅱ「一人一人が活躍できる村をつくります」についての意見や提案の数は、商工業振興、高齢者の活躍が最も多く、次いで生涯学習・文化であった。商工業振興については、重要度は平均点程度であったが、人口減少の対策としての意見がみられた。
- 基本戦略Ⅲ「安心して暮らし続けられる村をつくります」についての意見や提案の数は、防災・防犯、交通安全が最も多く、次いで地域共生、公共交通、循環型社会であった。重要度は平均点程度であった地域共生についてはボランティア活動の強制感、循環型社会については自然を大切にできていないといった否定的な意見がみられた。
- 基本戦略Ⅳ「未来へつながる村をつくります」についての意見や提案の数は、協働のむらづくりが最も多く、次いで行財政であった。協働のむらづくりについては、重要度は平均点を下回っているが、地域共生と同様、ボランティアありきで考えるべきではない、地区の役割が重い等の意見がみられた。
- その他の意見には、役場職員の対応の改善、買い物の利便性向上などの意見がみられた。

③ 今後の村づくりについての意見・提案（自由記述）

基本戦略		主要施策	分野	意見数
1	魅力にあふれ 暮らしたくなる村を つくります (魅力づくり)	出産・子育ての希望を叶える環境づくり	結婚・出産	3
			子育て	19
		誰もが暮らしたくなる環境づくり	移住・定住	27
			観光	8
2	一人一人が活躍できる村を つくります (ひとづくり)	村の産業振興と村民の雇用確保	農業振興	5
			森林保全・活用	2
			商工業振興	10
		特色のある教育・生涯学習の充実	教育	7
			生涯学習・文化	9
		誰もが活躍できる社会環境づくり	高齢者の活躍	10
			障がい者の活躍	2
			人権尊重	2
3	安心して 暮らし続けられる村を つくります (地域づくり)	安心して自分らしく健康に暮らし続けられ るしくみづくり	保健・医療	7
			地域共生	11
			防災・防犯	12
		安心して暮らせる基盤整備	交通安全	12
			公共交通	11
			土地利用	2
			水環境保全	3
			循環型社会	12
4	未来へつながる村を つくります (持続可能なむらづくり)		協働のむらづくり	36
			情報発信	17
			行財政	30
			公共施設	10
			その他	31